対象校No. 313

注4

学校コード F106310101225 注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分: 学部の学科の設置

注1



注2

東北文教大学 人間科学部 人間関係学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人富澤学園 令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務部

職名・氏名 フチョウ キカスヒロ 部長・岸一弘

電話番号 023-688-2298 (内線: 290)

(夜間) 023-688-2298 (内線: 290)

e —mail soumu@t-bunkyo.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

- 大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- •大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、 当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b menu/toukei/mext 01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、 該当番号を記載してください。

目次

人間科学部

<人	、間関係学科>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 8
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 6
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 10
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 14
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 15

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人富澤学園

- (2) 大 学 名 東北文教大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒990-2316 山形県山形市片谷地515

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変更状況	備考
理事長	(ユウキ アキオ) 結城 章夫 (平成31年4月)		
学長	(スガ カズヨシ) 須賀 一好 (平成31年4月)	^{(スガ} カズヨシ) 須賀 一好 (令和5年4月)	再任のため (5)
学 部 長	(オオモモ シンイチ) 大桃 伸一 (平成29年4月)	(オオモモ シンイチ) 大桃 伸一 (令和5年4月)	再任のため(5)
学科長等	(ハナヤ ミチコ) 花屋 道子 (_{令和3年4月)}	(ハシモト ミカ) 橋本 美香 (令和6年4月)	退職のため(6)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
 - 令和6年度に報告する内容 → (6)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位
 - <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、</u>
 - 別ファイルにて提出してください。
 - 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、
 - 設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、 我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程 を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	/## - #z
名称(学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	備 考
人間科学部 人間関係学科 学士(人間関係学)	社会学·社会 福祉学関係	4	60 人	2年次 0 人次 3年次 5 人次 5 人次	250		

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の
 - 「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、
 - 「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「一」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	令和元年	年度	令和:	2 年度	令和:	3 年度	令和	4 年度	令和5年	丰度	令和6	6年度	春季入学以外の 学期区分につい	収容定員	収容定員 充 足 率	備	考
区分	春季入学 その	の他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	と その他の学期	春季入学 その	の他の学期	春季入学	その他の学期	-	充 足 率	(控除後)	VE	Ţ
A 入学定員	\ - (-	人)]	人 - (-]	人 - -) -]	, 6	人 60 -) -]		、 人 60 -) 1]	人 60 (5 [-	人)]	人 6 (5 [-	人 0) -]					
志願者数	- (-) ([-] [- -) [-]	— (—) [—]	— (—) [—]	93 (-) [0]	(-) [-]	92 (-) [1]	(-) [-]	99 (3) ([-] [- -) [-]	77 (5) [1]	_ (
受験者数	— ((—) ([—] [— —) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	91 (-)	- (-) [-]	90 (-)	(-) [-]	98 (3) ([-] [- -) [-]	76 (5) [1]	- (-) [-]		0. 76倍	- 倍		
合格者数	- ((-) ([-] [— —) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	79 (-) [0]	- (-) [-]	78 (-) [1]	(-) [-]	90 (3) ([-] [- -) [-]	72 (5) [1]	- (-) [-]					
B 入学者数	- ((-) ([-] [— —) [—]	— (—) [—]	(-) [-]	49 (-) [0]	- (-) [-]	37 (-) [1]	- (-) [-]	52 (2) ([-] [- -) [-]	48 (5) [1]	- (-) [-]					
入学定員超過率 B/A	_				0.	81	0	. 61	0. 86	3	0.8	80					

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - · 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「一」を記入してください。
 - ()内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、
 - (())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・ <u>転入学生は記入しない</u>でください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)
 - に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入</u>してください。
 - 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
- なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。 取古年度に替学入子以外の子期区分の設定を才足している場合は、「替学入子以外の子期区分について」で「替学入子以外の子期区分を設ける才足」を選択してくたさ

(寿季) 受以外の受期区分の設定を予定していない場合は「一」を選択)

- ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。 なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、
- 報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ 「(5)ー② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の 倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	令和力	元年度	令和:	2 年度	令和:	3 年度	令和	4 年度	令和 5	5年度	令和 6	6年度			備	<u> </u>		
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	3		1) 	1	75	
		_	_	_	_	48	-	37	_	52	-	48	-	令和6年度	3年次に	編入学生	生5名を含	きむ	
	1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]						
		(–)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)						
				_	_	_	_	48	_	36	_	51	-						
	2 年次			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	[-]	[-]						
				(–)	(-)	(–)	(–)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)						
						_	_	_	_	50	-	41	-						
	3年次			/		[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]						
						(–)	(-)	(-)	(–)	(-)	(-)	(-)	(-)						
								_	_	_	_	50	_						
	4 年次					/		[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]						
								(-)	,	(–)	,	` ,	(-)	1					
		-		-	-	4	8 -	8	35	13	38		90						
	計	[—]		—]	[.	-]	[1]				2]						
		(—)	(—)	(-	-)	(.	-)	(-	-)	(-	-)						

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について、**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、**内数で**記入</u>してください。<u>該当がない年度には「-」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。 また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - · 「計」については、<u>各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		
対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
对家平皮			八子した平反		うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
月和2千及		^	令和2年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和3年度	49 人	1 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	1 人	- 人	他の教育機関への入学・転学(進路変更)(1名)
			令和元年度	- 人	- 人	
令和4年度	85 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和5年度	139 人	2 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	1 人	- 人	就学意欲の低下(1名)
			令和5年度	1 人	- 人	就学意欲の低下(1名)
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和6年度	190 人	0 人	令和3年度	- 人	- 人	
13和0千戌	100 X		令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
合 計		3 人		3 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職・学生個人の心身に関する事情・家庭の事情・除籍・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) % 令和元年度の在学者数(b) 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b) % 【令和3年度】 令和3年度の退学者数(a) 令和3年度の在学者数(b) 2.04 % 【令和4年度】 <u>令和4年度の退学者数(a)</u> % 令和4年度の在学者数(b) 【令和5年度】 <u>令和5年度の退学者数(a)</u> 1.43 % 令和5年度の在学者数(b) 【令和6年度】 令和6年度の退学者数(a) 令和6年度の在学者数(b) %

(注) ・ <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<人間科学部 人間関係学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目			配业	È	单位数	汝		任教		の配	置	兼 任
区分		授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	• 兼 担
基礎	ゼ入	基礎ゼミI	1前	1	_J/_	ш	1	1	2	70		122
教育科	ミ門	基礎ゼミⅡ	1後	1			1	1	2			
目		文章表現の技術	1·2 後		2							1
		くらしと倫理学	1·2 後		2							1
		くらしと文学	1·2 後		2							1
		くらしと憲法	1·2 前		2							1
		くらしと経済	1·2 前		2							1
	基	くらしと哲学	1·2 前		2		1					
	一礎教養	日本語のしくみ	1·2 前		2				1			
	及	ことばとコミュニケーション	1·2 後		2		1					
		民俗と歴史	1·2 後		2		1					
		社会学と社会システム	1前		2							1
		環境と生物を考える	1·2 前		2							6
		生物学の探究	1·2 前		2							1
		人間と宇宙を考える	1·2 前		2		1					
		英語 I	1前	1			1					1
		英語Ⅱ	1後	1			1					1
		英語コミュニケーション I	1·2 前		1							2
		英語コミュニケーションⅡ	1·2 後		1							2
	外 国	韓国語 I	1·2 前		1							1
	語	韓国語Ⅱ	1·2 後		1							1
		中国語 I	1·2 前		1				1			
		中国語Ⅱ	1·2 後		1				1			
		フランス語 I	1•2 前		1		1					
		フランス語Ⅱ	1·2 後		1		1					
	体保 育健	スポーツサイエンス I	1前		1							1
	月)廷	スポーツサイエンスⅡ	1後		1							1
		コンピュータ基礎演習	1前	1			1					
		情報倫理	1前	2				1				
		情報検索	1後		1			1				
	情 報	情報処理演習 I	1後		1		1					

【令和6年度】

	- 11	6年度』	配	È	单位数	tτ	直	厚任教	7 昌等	の配	置	兼
科目 区分		授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	任 •
基			次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼 担
礎教	ゼ入	基礎ゼミI	1前	1			1	1	2			
育科目	以 門	基礎ゼミⅡ	1後	1			1	1	2			
		文章表現の技術	1·2 後		2							1
		くらしと倫理学	1·2 後		2							1
		くらしと文学	1·2 後		2							1
		くらしと憲法	1•2 前		2							1
		くらしと経済	1•2 前		2							1
	基	くらしと哲学	1•2 前		2		1					
	礎教養	日本語のしくみ	1•2 前		2				1			
	R	ことばとコミュニケーション	1·2 後		2		1					
		民俗と歴史	1•2 前		2		1					
		社会学と社会システム	1•2 前		2							1
		環境と生物を考える	1•2 前		2							5
		生物学の探究	1•2 前		2							1
		人間と宇宙を考える	1•2 前		2		1					
		英語 I	1前	1			1					1
		英語Ⅱ	1後	1			1					1
		英語コミュニケーション I	1•2 前		1							2
		英語コミュニケーションⅡ	1·2 後		1							2
	外国	韓国語 I	1•2 前		1							1
	語	韓国語Ⅱ	1·2 後		1							1
		中国語 I	1•2 前		1				1			
		中国語Ⅱ	1·2 後		1				1			
		フランス語 I	1•2 前		1		1					
		フランス語Ⅱ	1·2 後		1		1					
	体保 育健	スポーツサイエンス I	1前		1							1
	F Œ	スポーツサイエンスⅡ	1後		1							1
		コンピュータ基礎演習	1前	1			1					
		情報倫理	1前	2				1				
		情報検索	1後		1			1				
	情 報	情報処理演習 I	1後		1		1					

	処理	情報処理演習Ⅱ	2前		1		1			
		情報処理演習Ⅲ	2後		1	1				
		ネットワーク応用演習	2後		1					1
		情報機器演習	2前		1		1			
		生涯学習概論	2後		2					1
	図	図書館概論	1·2 前		2					1
	書館	図書館制度・経営論	2後		2					1
		図書館情報技術論	1·2 前		2		1			
		山形の歴史・文化	1·2 後		2	1				
		山形の政治と行政	1·2 後		2					1
	地域事	山形の産業と経済	1·2 前		2					1
	情	山形のことばとくらし	1·2 後		2			1		1
		山形の信仰と伝承	1·2 前		2					1
基礎		アメリカ事情	1·2 前		2					1
教育科	海外	ヨーロッパ事情	1·2 後		2	1				
	事情	中国事情	1·2 後		2			1		
		韓国事情	1·2 前		2					1
	<u></u>	海外語学研修 A (英語)	1 · 2 · 3 · 4		2	1				
	海外研究	海外語学研修 B (韓国語)	1 · 2 · 3 · 4		2		1			
	修	海外語学研修 C (中国語)	1· 2· 3·4		2			1		
		ボランティア論	1前		2					1
	社会	ボランティア活動実践	1 後・ 2・		1		1			
	体験	企業研究	1•2 前		2					1
		インターンシップ	1·2 後		1					2
		小計(55科目)	-	7	80	4	3	2		25
専門教		人間関係論	1後	2		3	1			
教育科目		人間関係演習 I	2前	1		3	3			
	中	人間関係演習Ⅱ	2後	1		3	3			
	心科目	人間関係プロジェク トA (コミュニケー ションと心理)	3前		1	3				
		人間関係プロジェク トB (福祉とコミュ ニケーション)	3前		1	1	1			
		人間関係プロジェク トC(心理と福祉)	3前		1	1	2			
		小計(6科目)	-	4	3	7	3			
		心理学概論A	1前		2					1
		心理学概論B	1後		2	1				
		教育心理学	3前		2	1				
		障害者・障害児心理学	3後		2					1
		家族心理学	4前		2		1			

	l bn									
	型 理	情報処理演習Ⅱ	2前		1		1			
		情報処理演習Ⅲ	2後		1	1				
		ネットワーク応用演習	2前		1					1
		情報機器演習	2後		1		1			
		生涯学習概論	2後		2					1
	図	図書館概論	1•2 前		2					1
	書館	図書館制度・経営論	2後		2					1
		図書館情報技術論	1•2 前		2		1			
		山形の歴史・文化	1·2 後		2	1				
	144	山形の政治と行政	1·2 後		2					1
	地域事情	山形の産業と経済	1•2 前		2					1
	情	山形のことばとくらし	1·2 後		2			1		1
		山形の信仰と伝承	1•2 前		2					1
基礎教		アメリカ事情	1·2 前		2					1
育科目	海外	ヨーロッパ事情	1·2 後		2	1				
I	事情	中国事情	1·2 後		2			1		
		韓国事情	1•2 前		2					1
	海	海外語学研修 A (英語)	1 · 2 · 3 · 4		2	1				
	外研修	海外語学研修 B (韓国語)	1 · 2 · 3 · 4		2		1			
	وا	海外語学研修 C (中国語)	1 · 2 · 3 · 4		2			1		
		ボランティア論	1前		2					1
	社会	ボランティア活動実践	1 後• 2		1		1			
	体験	企業研究	1•2 後		2					1
		インターンシップ	2前		1					1
		小計(55科目)	-	7	80	5	3	2		22
専門数		人間関係論	1後	2		3				
教育科目		人間関係演習 I	2前	1		2	3			
	中	人間関係演習Ⅱ	2後	1		2	3			
	-心科目	人間関係プロジェク トA (コミュニケー ションと心理)	3前		1	2				
	P	人間関係プロジェク トB(福祉とコミュ ニケーション)	3前		1	1	1			
		人間関係プロジェク トC(心理と福祉)	3前		1	2	1			
		小計(6科目)	-	4	3	5	3			
		心理学概論A	1前		2					1
		心理学概論B	1後		2					1
		教育心理学	3前		2	1				
		障害者・障害児心理学	3後		2					1
		家族心理学	4前		2		1			

i i	i								
		福祉心理学	3前	2					1
		心理調査概論	2後	2	1				
		現代社会心理	1後	2	1				
		多文化理解	2•3 前	2	1				
		社会福祉調査の基礎	2•3 前	2					1
		障がい者福祉論	1·2 後	2		1			
		児童福祉論	1·2 後	2					1
	専門基	高齢者福祉論	2•3 前	2			1		
	盤科目	医学概論	2·3 後	2					1
	Н	関係構築の心理	1後	1	1	1			1
		産業・組織心理学	3前	2					1
		社会・集団心理学	2後	2	1				
		メディアと人間関係	2•3 前	2		1			
		文字表現論	1·2 後	2			1		
		対話表現論	1·2 後	2		1			
		地域と多文化	2•3 前	2					1
		地域共生論	2•3 前	2	1				
		異文化間コラボレーション	2·3 後	2	1				1
		保健医療と福祉	2·3 後	2	1				
		社会福祉概論 I	1·2 前	2	1	1			
		地域福祉論 I	1•2 前	2		1			
		小計(26科目)	-	51	8	5	2		10
専門		くらしと地域	2·3 後	2	1				
教育科目		地域政策論	2•3 前	2					1
目		談話コミュニケーション論 I	2前	2		1			
		談話コミュニケーション論Ⅱ	2後	2		1			
		日本語学 I	2前	2			1		
		日本語学Ⅱ	2後	2			1		
		異文化論 I	2前	2	1				
	+	異文化論Ⅱ	2後	2	1				
	専門発	対照言語コミュニケーション論 I	2前	2	1				
	展科目	対照言語コミュニケーション論 II	2後	2	1				
	П	談話言語演習	2•3 前	1		1			
		談話コミュニケーション演習	2•3 後	1		1			
		地域言語演習	2•3 前	1			1		
		地域言語コミュニケーション演習	2•3 後	1			1		
		異文化演習	2•3 前	1	1				

ĺ		福祉心理学	3前	2					1
		心理調査概論	2後	2	1				
		現代社会心理	1後	2	1				
		多文化理解	2•3 前	2	1				
		社会福祉調査の基礎	2·3 後	2					1
		障がい者福祉論	1 • 2	2	1		1		
		児童福祉論	後 1·2	2					1
	専	高齢者福祉論	後 2·3 前	2			1		
	門基盤	医学概論	2·3 後	2					1
	科目	 関係構築の心理	1後	1		1			1
		産業・組織心理学	3前	2					1
		社会・集団心理学	2後	2	1				
		メディアと人間関係	2•3 前	2		1			
		文字表現論	1·2 後	2			1		
		対話表現論	1•2 前	2		1			
		地域と多文化	2•3 前	2					1
		地域共生論	2•3 前	2	1				
		異文化間コラボレーション	2·3 後	2	1				1
		保健医療と福祉	2·3 後	2	1				
		社会福祉概論 I	1•2 前	2	1	1			
		地域福祉論 I	1•2 前	2		1			
	'	小計(26科目)	-	51	7	4	2		11
見り		くらしと地域	2•3 後	2	1				
女 1 1 1		地域政策論	2•3 前	2					1
		談話コミュニケーション論 I	2前	2		1			
		談話コミュニケーション論Ⅱ	2後	2		1			
		日本語学 I	2前	2			1		
		日本語学Ⅱ	2後	2			1		
		異文化論 I	2前	2	1				
	専	異文化論Ⅱ	2後	2	1				
	門 発	対照言語コミュニケーション論 I	2前	2	1				
	展科目	対照言語コミュニケーション論Ⅱ	2後	2	1				
		談話言語演習	2•3 前	1		1			
		談話コミュニケーション演習	2·3 後	1		1			
		地域言語演習	2•3 前	1			1		
		地域言語コミュニケーション演習	2·3 後	1			1		
		異文化演習	2•3 前	1	1				

専門教育科目

Ī	Ī			Ī	1				1	
		異文化コミュニケーション演習	2·3 後		1	1				
		言語理解演習	2•3 前		1	1				
		対照言語コミュニケーション演習	2·3 後		1	1				
専門教	専門発	英語エクスプレッションスキル	2· 3·4 前 2·		2	1				
育科	展科	韓国語エクスプレッションスキル	3·4 前		2		1			
目	目	中国語エクスプレッションスキル	2· 3·4 前		2			1		
		臨床心理学	2前		2	1				
		心理学研究法	2前		2	3	1			1
		心理学統計法	2前		2					1
		心理測定法	2前		2	1				
		人格心理学	3前		2	1				
		知覚心理学	2後		2	1				
		学習心理学	2後		2					1
		神経心理学	3後		2					1
		生理心理学	3後		2					1
		キャリア発達の心理学	3前		2	2	1			
		健康・医療心理学	3後		2					1
		発達心理学	2前		2		1			
		教育相談	4後		2	1				
		対人関係論	3後		2		1			
		対人行動論	3後		2	1				
		対人認知論	3前		2	1				
		ソーシャルワークの基盤と専門職 I	2前		2		1			
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2後		2					1
		ソーシャルワークの理論と方法 I	2•3 前		2		2			
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2·3 後		2		1	1		
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	3·4 前		2			1		
		ソーシャルワークの理論と方法IV	3後		2			1		
		社会福祉概論Ⅱ	2•3 前		2					1
		地域福祉論Ⅱ	2· 3·4 前		2		1			
		刑事司法と福祉	2•3 前		2					1
		社会福祉施設運営論	2·3 後		2			1		
		社会保障論 I	3後		2					1
		社会保障論Ⅱ	4前		2					1
		公的扶助論	2· 3·4 前		2					1
		権利擁護と成年後見制度	2.1		2					1
		小計(51科目)	_		94	7	4	3		10

	異文化コミュニケーション演習	2·3 後	1	1				
	言語理解演習	2•3 前	1	1				
	対照言語コミュニケーション演習	2•3 後	1	1				
専門発	英語エクスプレッションスキル	2· 3·4 前	2	1				
発展科	韓国語エクスプレッションスキル	2· 3·4 前	2		1			
目	中国語エクスプレッションスキル	2· 3·4 前	2			1		
	臨床心理学	2前	2					1
	心理学研究法	2前	2	2	1			1
	心理学統計法	2前	2					1
	心理測定法	2前	2	1				
	人格心理学	3前	2	1				
	知覚心理学	2後	2	1				
	学習心理学	2前	2					1
	神経心理学	3後	2					1
	生理心理学	3後	2					1
	キャリア発達の心理学	3前	2	1	1			
	健康・医療心理学	3前	2					1
	発達心理学	2前	2		1			
	教育相談	4後	2					1
	対人関係論	3後	2		1			
	対人行動論	3後	2	1				
	対人認知論	3前	2					1
	ソーシャルワークの基盤と専門職 I	2前	2	1				
	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2後	2					1
	ソーシャルワークの理論と方法 I	2•3 前	2		1	1		
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2•3 後	2	1		1		
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	3•4 前	2			1		
	ソーシャルワークの理論と方法IV	3後	2			1		
	社会福祉概論Ⅱ	2•3 前	2					1
	地域福祉論Ⅱ	2· 3·4 前	2		1			
	刑事司法と福祉	2•3 前	2					1
	社会福祉施設運営論	2·3 後	2			1		
	社会保障論 I	3後	2					1
	社会保障論Ⅱ	4前	2					1
	公的扶助論	2· 3·4 前	2					1
	権利擁護と成年後見制度	2.4	2					1
,	小計(51科目)	_	94	6	3	3		10

専門教育科目

専	専		2•								
門教	門発	英語エクスプレッション実践	3·4 後		1						1
育科目	展科目	韓国語エクスプレッション実践	2· 3·4 後 2·		1			1			
		中国語エクスプレッション実践	3·4 後		1				1		
		国際コミュニケーションスキル	2•3 前		1		1		1		
		マルチ言語プロジェクト	2·3 後		2		1		1		
		プロジェクトツアーA	2•3 前		2				2		
		プロジェクトツアーB	2·3 後		2		2				
		心理学基礎実験	2前		1		2	1			1
		心理学実験A	2後		1		2	1			1
		心理学実験B	3前		1		2	1			1
		社会心理学調査実習	3後		1		2				
		心理検査法実習	3後		1		1				1
		心理的アセスメント	3後		2		1				3
		臨床心理学演習	3前		1						1
		心理演習	3通		2		3	1			
		社会福祉士演習 I	4前		1			1	1		
		社会福祉士演習Ⅱ	4後		1			1	1		
		ソーシャルワーク演習I	2前		2		1	1			
		ソーシャルワーク演習Ⅱ	2後		2		1		1		
		ソーシャルワーク演習Ⅲ	3前		2				1		1
		ソーシャルワーク演習IV	3後		2		1				1
		ソーシャルワーク演習V	4前		2		1	1	1		
		ソーシャルワーク実習指導 I	3前		1		1	2	1		1
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3後		1		1	2	1		1
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4前		1		1	2	1		1
		ソーシャルワーク実習 I	3前		2		1	2	1		1
		ソーシャルワーク実習Ⅱ	3後		4		1	2	1		1
		小計(27科目)	_		41		6	4	3		8
<u> </u>	 卒 業	課題研究	3後	1			7	4	3		
五 3	卒業 研究	卒業研究	4通	4			7	4	3		
[†]	화 를	小計(2科目)	_	5			7	4	3		
		社会科学基礎(言語・国語)	1前			1					1
		社会科学基礎(社会)	1前			1					1
	リメデ	自然科学基礎(数学)	1前			1					1
	ィア	自然科学基礎(理科)	1前			1					1
	ル	国際言語基礎(英語)	1前			1					1
		小計(5科目)	_			5					5
I											

専	専		2•								
門教	門発	英語エクスプレッション実践	3·4 後 2·		1						1
育科目	展科目	韓国語エクスプレッション実践	3·4 後		1			1			
		中国語エクスプレッション実践	2· 3·4 後		1				1		
		国際コミュニケーションスキル	2•3 前		1		1		1		
		マルチ言語プロジェクト	2·3 後		2		1		1		
		プロジェクトツアーA	2•3 前		2				2		
		プロジェクトツアーB	2·3 後		2		2				
		心理学基礎実験	2前		1		1	1			1
		心理学実験A	2後		1		1	1			1
		心理学実験B	3前		1		1	1			1
		社会心理学調査実習	3後		1		2				
		心理検査法実習	3後		1						1
		心理的アセスメント	3後		2						3
		臨床心理学演習	3前		1						1
		心理演習	3通		2		2	1			
		社会福祉士演習 I	4前		1			1	1		
		社会福祉士演習Ⅱ	4後		1			1	1		
		ソーシャルワーク演習I	2前		2		1	1			
		ソーシャルワーク演習Ⅱ	2後		2		1		1		
		ソーシャルワーク演習Ⅲ	3前		2				1		1
		ソーシャルワーク演習IV	3後		2		1				1
		ソーシャルワーク演習V	4前		2		1		1		
		ソーシャルワーク実習指導 I	3前		1		1	1	1		1
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3後		1		1	1	1		1
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4前		1		1	1	1		1
		ソーシャルワーク実習 I	3前		2		1	1	1		1
		ソーシャルワーク実習Ⅱ	3後		4		1	1	1		1
		小計(27科目)	_		41		5	3	3		8
즈		課題研究	3後	1			6	3	3		
3	卒 業 研 究 斗	卒業研究	4通	4			6	3	3		
	화]	小計(2科目)	ı	5			6	3	3		
		社会科学基礎(言語・国語)	1前			1					1
		社会科学基礎(社会)	1前			1					1
	リメデ	自然科学基礎(数学)	1前			1					1
	ィアル	自然科学基礎(理科)	1前			1					1
		国際言語基礎(英語)	1前			1					1
		小計(5科目)	_			5					5
•											

l		□ まぬれ 13 p 押み	2•3								
		図書館サービス概論	前			2					1
		情報サービス論	2•3 前			2					1
		児童サービス論	2·3 後			2					1
		情報サービス演習A	2·3 後			1					1
		情報サービス演習B	2•3 前			1		1			
	司書	図書館情報資源概論	1·2 後			2					1
	資格に	情報資源組織論	1·2 前			2					1
自由	係る	情報資源組織演習A	1·2 後			1					1
科目	科目	情報資源組織演習B	2·3 前			1					1
		図書館基礎特論	1·2 後			1					1
		図書館サービス特論	2·3 後			1					1
		図書館情報資源特論	2•3 前			1					1
		図書・図書館史	1·2 後			1					1
		小計(13科目)	-			18		1			1
	ア キ準	デジタル・アーキビ スト概論	2•3 前			2					1
	ビスト 資	地域文化とデジタ ル・アーカイブ	2·3 後			2					1
	格・科目	小計(2科目)	_			4					1
		TOEIC対策	1· 2· 3·4 前			1	1				
	キャリア	韓国語検定対策	1· 2· 3·4 前			1		1			
	, 支 援	中国語検定対策	1·2 ·3· 4前			1			1		
		小計(3科目)	_			3	1	1	1		
	合	計(190科目)	ı	16	269	27	10	5	3		51

卒業要件及び履修方法

(卒業要件(合計124単位以上 *自由科目を除く)

- ·基礎教育科目33単位以上(含 必修7単位、選択必修26単位以上)
- •専門教育科目66単位以上(必修4単位、選択必修62単位以上)
- •卒業研究科目5単位必修

必修科目(合計16単位)

- •基礎教育科目 6科目7単位
- •専門教育科目 3科目4単位 •卒業研究科目 2科目5単位

選択必修(下記の要件を満たし、合計88単位以上)

- ·基礎教育科目(26単位以上) 「基礎教養」より8単位以上
- 「地域事情」より4単位以上
- 中心科目(2単位以上) 「人間関係プロジェクトA・B・C」より2単位以上
- 専門基盤科目(22単位以上) 「人間の理解」より8単位以上
- 「関係の構築・調整」より4単位以上 「協働力」より4単位以上
- •専門発展科目(38単位以上)
- 「グローカルコミュニケーション領域」「心理総合領域」「福祉マネジメント領域」のどれ か1区分から20単位以上
- ・実践領域の「「グローカルコミュニケーション実践」「心理総合実践」「福祉マネジメント 実践」の一区分から4単位以上

上記の必修・選択必修科目104単位に加え、基礎教育科目、専門教育科目から合わ せて20単位以上、総計124単位以上を取得すること。

_											
		図書館サービス概論	2•3 前			2					1
		情報サービス論	2•3 前			2					1
		児童サービス論	2·3 後			2					1
		情報サービス演習A	2·3 後			1					1
		情報サービス演習B	2•3 前			1		1			
	司聿	図書館情報資源概論	1·2 後			2					1
	書資格	情報資源組織論	1·2 前			2					1
自由	に係る	情報資源組織演習A	1·2 後			1					1
由科目	科目	情報資源組織演習B	2·3 前			1					1
		図書館基礎特論	1·2 後			1					1
		図書館サービス特論	2·3 後			1					1
		図書館情報資源特論	2•3 前			1					1
		図書・図書館史	1·2 後			1					1
		小計(13科目)	-			18		1			1
	ア キ準	デジタル・アーキビ スト概論	2•3 前			2					1
	トタ 資ル	地域文化とデジタ ル・アーカイブ	2·3 後			2					1
	格 · 科 目	小計(2科目)	-			4					1
		TOEIC対策	1· 2· 3·4 前			1	1				
	キャリア	韓国語検定対策	1· 2· 3·4 後			1		1			
	支援	中国語検定対策	1•2 •3• 4前			1			1		
		小計(3科目)	ı			3	1	1	1		
	合	計(190科目)	ı	16	269	30	9	4	3		49

卒業要件及び履修方法

(卒業要件(合計124単位以上 *自由科目を除く)

- ·基礎教育科目33単位以上(含 必修7単位、選択必修26単位以上)
- ·専門教育科目66単位以上(必修4単位、選択必修62単位以上)
- •卒業研究科目5単位必修

必修科目(合計16単位)

- •基礎教育科目 6科目7単位
- •専門教育科目 3科目4単位
- ·卒業研究科目 2科目5単位

選択必修(下記の要件を満たし、合計88単位以上)

- ・基礎教育科目(26単位以上)
- 「基礎教養」より8単位以上
- 「地域事情」より4単位以上
- 中心科目(2単位以上) 「人間関係プロジェクトA・B・C」より2単位以上
- ·専門基盤科目(22単位以上) 「人間の理解」より8単位以上
- 「関係の構築・調整」より4単位以上
- 「協働力」より4単位以上 専門発展科目(38単位以上)
- 「グローカルコミュニケーション領域」「心理総合領域」「福祉マネジメント領域」のどれか1区 分から20単位以上
- ・実践領域の「「グローカルコミュニケーション実践」「心理総合実践」「福祉マネジメント実践」 の一区分から4単位以上

上記の必修・選択必修科目104単位に加え、基礎教育科目、専門教育科目から合わせて20単 位以上、総計124単位以上を取得すること。

【令和5年度】

		5 千皮』	配业	Ì	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分		授業科目の名称	当年次	必	選	自士	教	准 教 授	講	助	助工	· 兼 扣
基礎教	ゼ入	基礎ゼミI	1前	<u>修</u> 1	択	由	授 1	·按 2	<u>師</u> 1	教	手	担
育科	ミ門	基礎ゼミⅡ	1後	1			1	2	1			
目		文章表現の技術	1·2 後		2							1
		くらしと倫理学	1·2 後		2							1
		くらしと文学	1·2 後		2							1
		くらしと憲法	1·2 前		2							1
		くらしと経済	1·2 前		2							1
	基	くらしと哲学	1·2 前		2		1					
	一礎教養	日本語のしくみ	1•2 前		2							1
	R	ことばとコミュニケーション	1·2 後		2		1					
		民俗と歴史	1•2 前		2		1					
		社会学と社会システム	1•2 前		2							1
		環境と生物を考える	1·2 前		2							6
		生物学の探究	1·2 前		2							1
		人間と宇宙を考える	1•2 前		2		1					
		英語 I	1前	1			1					1
		英語Ⅱ	1後	1			1					1
		英語コミュニケーション I	1·2 前		1							2
		英語コミュニケーションⅡ	1·2 後		1							2
	外国	韓国語 I	1·2 前		1							1
	語	韓国語Ⅱ —————	1·2 後		1							1
		中国語 I	1·2 前		1				1			
		中国語Ⅱ	1·2 後		1				1			
		フランス語 I	1·2 前		1		1					
		フランス語Ⅱ	1·2 後		1		1					
	体保 育健	スポーツサイエンス I	1前		1							1
	月波	スポーツサイエンスⅡ	1後		1							1
		コンピュータ基礎演習	1前	1			1					
		情報倫理	1前	2				1				
		情報検索	1後		1			1				
	情報処	情報処理演習 I	1後		1		1					
	理	情報処理演習Ⅱ	2前		1			1				
		情報処理演習Ⅲ	2後		1		1					
		ネットワーク応用演習	2前		1							1

【令和4年度】

			配	È	单位数	女	専	任教	て 員等	の配	,置	兼 任
¥目 区 分		授業科目の名称	当年次	必修	選択	自 由	教 授	准 教 授	講師	助教	助手	· 兼 担
基礎教	ゼ入	基礎ゼミI	1前	1	<i>J</i> / \	щ	2	1	1	72	•	<u> </u>
育科	と門	基礎ゼミⅡ	1後	1			1	1	2			
目		文章表現の技術	1·2 後		2							1
		くらしと倫理学	1·2 後		2							1
		くらしと文学	1·2 後		2							1
		くらしと憲法	1•2 前		2							1
		くらしと経済	1•2 前		2							1
	Ħ	くらしと哲学	1•2 前		2		1					
	基礎教養	日本語のしくみ	1•2 後		2				1			
	食	ことばとコミュニケーション	1·2 後		2		1					
		民俗と歴史	1·2 後		2		1					
		社会学と社会システム	1前		2							1
		環境と生物を考える	1•2 前		2							6
		生物学の探究	1•2 前		2							1
		人間と宇宙を考える	1•2 前		2		1					
		英語 I	1前	1			1					1
		英語Ⅱ	1後	1			1					1
		英語コミュニケーション I	1•2 前		1							2
		英語コミュニケーションⅡ	1·2 後		1							2
	外国	韓国語 I	1•2 前		1							1
	語	韓国語Ⅱ	1·2 後		1							1
		中国語 I	1•2 前		1				1			
		中国語Ⅱ	1·2 後		1				1			
		フランス語 I	1•2 前		1		1					
		フランス語Ⅱ	1·2 後		1		1					
	保健体	スポーツサイエンス I	1前		1							1
	育	スポーツサイエンスⅡ	1後		1							1
		コンピュータ基礎演習	1前	1			1					
		情報倫理	1前	2				1				
		情報検索	1後		1			1				
	情 報 処	情報処理演習 I	1後		1		1					
	理	情報処理演習Ⅱ	2前		1			1				
		情報処理演習Ⅲ	2後		1		1					
		ネットワーク応用演習	2前		1							1

情報機器演習 2後 1 1 生涯学習概論 2後 2 図書館概論 1·2		1
図書館概論 1·2		
図書館 前 図書館制度・経営論 2 図書館情報技術論 1・2		1
館 図書館制度・経営論 2後 2 図書館情報技術論 1・2		
以下の味中,文化 1·2 2 1		1
山形の政治と行政 1·2 後 2		1
域 事 情		1
山形のことばとくらし 1·2 後 2 1		1
山形の信仰と伝承 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2		1
基		1
育 科 科 外 コーロッパ事情 1・2 前 1 1		
事 情 中国事情 1·2 後 2 1		
韓国事情 1・2 2		1
海外語学研修 A 2·3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
海外語学研修B 1・ 2・3 (韓国語) ・4		
海外語学研修 C 2·3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
ボランティア論 1前 2		1
社会 ボランティア活動実践 後・ 1 2 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 1 1 1 1 1		
体験 企業研究		1
インターンシップ 2前 1		2
小計(55科目) - 7 80 5 3 1		25
専 門 教 人間関係論 1後 2		
教育科目 人間関係演習 I 2前 1 3 3		
人間関係演習Ⅱ 2後 1 3 3		
心 人間関係プロジェク 3前 1 3 3 1 1 3 1 1 3 1 1		
日 人間関係プロジェク トB (福祉とコミュ 3前 1 1 1 1 ニケーション)		
人間関係プロジェクトC (心理と福祉) 3前 1 2 1		
小計(6科目) - 4 3 6 3		
心理学概論A 1前 2		1
心理学概論 B 1後 2 1		
教育心理学 3前 2 1		
障害者・障害児心理学 3後 2		1
家族心理学 4前 2 1		
福祉心理学 3前 2		1
心理調査概論 2後 2 1		
現代社会心理 1後 2 1		

		情報機器演習	2後		1		1			
		生涯学習概論	2後		2					1
	_	図書館概論	1•2		2					1
	図書館	図書館制度・経営論	1 2後		2					1
		図書館情報技術論	1•2		2		1			'
•		山形の歴史・文化	前 1•2		2	1	'			
		山形の政治と行政	後 1·2		2					1
	地 域	山形の産業と経済	後 1·2		2					1
	域 事 情	山形のことばとくらし	前 1•2		2			1		
		山形の信仰と伝承	後 1·2					1		1
			前 1•2		2					1
	: =	アメリカ事情	前 1•2		2					1
	海外事情	ヨーロッパ事情	後 1·2		2	1				
	情	中国事情	後 1·2		2			1		
		韓国事情 海外語学研修A	前 1·		2					1
	海 外	(英語) 海外語学研修B	2·3 ·4		2	1				
	, 研 修	(韓国語) 海外語学研修C	2•3 •4		2		1			
•		(中国語)	2•3 •4		2			1		
		ボランティア論	1前 1		2					1
	社会体	ボランティア活動実践	後· 2 1·2		1		1			
	験	企業研究	後		2					1
		インターンシップ	2前		1					2
専		小計(55科目)	-	7	80	6	3	2		25
門		人間関係論	1後	2		3				
教育科目		人間関係演習 I	2前	1		3	3			
	中心	人間関係演習Ⅱ 人間関係プロジェク	2後	1		3	3			
	科目	トA (コミュニケー ションと心理) 人間関係プロジェク	3前		1	3				
		トB (福祉とコミュ ニケーション) 人間関係プロジェク	3前		1	1	1			
		トC(心理と福祉)	3前		1	2	1			
ļ		小計(6科目)	_	4	3	6	3			
		心理学概論 A	1前		2					1
		心理学概論 B	1後		2	1				
		教育心理学	3前		2	1				
		障害者・障害児心理学	3後		2					1
		家族心理学	4前		2		1			
		福祉心理学	3前		2					1
		心理調査概論	2後		2	1				
		現代社会心理	1後		2	1				

•	ì				 			 	
		多文化理解	2•3 前	2	1				
		社会福祉調査の基礎	2•3 前	2					1
		障がい者福祉論	1·2 後	2	1		1		
		児童福祉論	1·2 後	2					1
	専門	高齢者福祉論	2•3 前	2			1		
	基盤	医学概論	2•3 後	2					1
	科目	関係構築の心理	1後	1	1	1			1
		産業・組織心理学	3前	2					1
		社会・集団心理学	2後	2	1				
		メディアと人間関係	2•3 前	2		1			
		文字表現論	1•2 後	2			1		
		対話表現論	1•2 前	2		1			
		地域と多文化	2•3 前	2					1
		地域共生論	2•3 前	2	1				
		異文化間コラボレーション	2•3 後	2	1				1
		保健医療と福祉	2•3 後	2	1				
		社会福祉概論 I	1•2 前	2	1	1			
		地域福祉論 I	1•2 前	2		1			
		小計(26科目)	-	51	8	4	2		10
専門数		くらしと地域	2·3 後	2	1				
育 科		地域政策論	2·3 前	2					1
教育科目		地域政策論 談話コミュニケーション論Ⅰ		2		1			1
教育科目			前			1			1
教育科目		談話コミュニケーション論 I	前 2前	2					1
教育科目		談話コミュニケーション論 I 談話コミュニケーション論 II	前 2前 2後	2					
教育科目		談話コミュニケーション論 I 談話コミュニケーション論 II 日本語学 I	前 2前 2後 2前	2 2 2	1				1
教育科目	亩	談話コミュニケーション論 I 談話コミュニケーション論 II 日本語学 I 日本語学 II	前 2前 2後 2前 2後	2 2 2	1				1
教育科目	専門発	談話コミュニケーション論 I 談話コミュニケーション論 I 日本語学 I 日本語学 I 異文化論 I	前 2前 2第 2前 2前	2 2 2 2					1
教育科目	門発展科	談話コミュニケーション論 I 談話コミュニケーション論 I 日本語学 I 日本語学 I 異文化論 I 異文化論 I 異文化論 II	前 2前 2後 2前 2後 2前 2後	2 2 2 2 2	1				1
教育科目	門発展	談話コミュニケーション論 I 談話コミュニケーション論 I 日本語学 I 日本語学 I 異文化論 I 異文化論 I	前 2前 2後 2前 2後 2前 2後	2 2 2 2 2 2	1				1
教育科目	門発展科	談話コミュニケーション論 I 談話コミュニケーション論 I 日本語学 I 日本語学 I 異文化論 I 異文化論 I メ州県言語コミュニケーション論 I 対照言語コミュニケーション論 I	前 2前 2後 2前 2後 2前 2後 2:3	2 2 2 2 2 2 2 2	1	1			1
教育科目	門発展科	談話コミュニケーション論Ⅱ 日本語学Ⅱ 日本語学Ⅲ 異文化論Ⅱ 異文化論Ⅱ 対照言語コミュニケーション論Ⅱ 対照言語コミュニケーション論Ⅱ 対照言語コミュニケーション論Ⅱ 談話言語演習	前 2前 2後 2前 2前 2後 2前 2後 2·3 10 2·3	2 2 2 2 2 2 1	1	1			1
教育科目	門発展科	談話コミュニケーション論 I	前 2前 2後 2前 2後 2前 2・3 2・3 2・3 2・3	2 2 2 2 2 1 1	1	1			1
教育科目	門発展科	談話コミュニケーション論 I	前 2前 2後 2前 2後 2前 2後 2前 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3	2 2 2 2 2 1 1 1 1	1	1			1 1
教育科目	門発展科	談話コミュニケーション論 I 談話コミュニケーション論 I 日本語学 I 日本語学 I 異文化論 I 異文化論 I メ照言語コミュニケーション論 I 対照言語コミュニケーション論 I 対照言語コミュニケーション演習 地域言語 演習 地域言語 演習	前 26 2前 2後 2前 2後 2前 26 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3	2 2 2 2 2 1 1 1 1 1	1 1 1	1			1 1
教育科目	門発展科	談話コミュニケーション論Ⅱ 日本語学Ⅱ 日本語学Ⅱ 異文化論Ⅱ 異文化論Ⅱ 異文化論Ⅲ 対照言語コミュニケーション論Ⅱ 対照言語コミュニケーション論Ⅱ 対照言語 演習 談話コミュニケーション演習 地域言語コミュニケーション演習 地域言語コミュニケーション演習 異文化演習	前 26 2前 26 2前 26 2前 26 2前 23 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3	2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	1			1 1

		多文化理解	2•3 前	2	1				
		社会福祉調査の基礎	2•3 前	2					1
		障がい者福祉論	1·2 後	2	1		1		
		児童福祉論	1·2 後	2					1
	専	高齢者福祉論	2•3 前	2			1		
	門基盤	医学概論	2·3 後	2					1
	科 目	関係構築の心理	1後	1	1	1			1
		産業・組織心理学	3前	2					1
		社会・集団心理学	2後	2	1				
		メディアと人間関係	2•3 前	2		1			
		文字表現論	1·2 後	2			1		
		対話表現論	1·2 後	2		1			
		地域と多文化	2•3 前	2					1
		地域共生論	2•3 前	2	1				
		異文化間コラボレーション	2·3 後	2	1				1
		保健医療と福祉	2·3 後	2	1				
		社会福祉概論 I	1•2 前	2	1	1			
		地域福祉論 I	1•2 前	2		1			
		小計(26科目)	-	51	8	4	2		10
専門数		くらしと地域	2·3 後	2	1				
教 育 科		地域政策論	2•3 前	2					1
件		談話コミュニ							
件 目 		ケーション論 I	2前	2		1			
件 目 目 -			2前2後	2		1			
付 目 		ケーション論 I 談話コミュニ					1		
付 目		ケーション論 I 談話コミュニ ケーション論 II	2後	2			1		
件 目 		ケーション論 I 談話コミュニ ケーション論 II 日本語学 I	2後 2前	2	1				
件 目 	車	ケーション論 I 談話コミュニ ケーション論 II 日本語学 I	2後 2前 2後	2 2 2	1				
件 目	専門発見	ケーション論 I 談話コミュニ ケーション論 II 日本語学 I 日本語学 I 異文化論 I	2後 2前 2後 2前	2 2 2	·				
付目	門	ケーション論 I 談話コミュニ ケーション論 II 日本語学 I 日本語学 I 異文化論 I 異文化論 I	2後 2前 2第 2前 2後	2 2 2 2 2	1				
付目	門発展科	ケーション論 I 談話コミュニ ケーション論 II 日本語学 I 日本語学 I 異文化論 I 異文化論 I	2後 2前 2前 2前 2前	2 2 2 2 2 2	1				
付目	門発展科	ケーション論 I 談話コミュニ ケーション論 II 日本語学 I 日本語学 I 異文化論 I 異文化論 I	2後 2前 2前 2前 2第 2前 2次	2 2 2 2 2 2 2	1	1			
^(社) 目 	門発展科	ケーション論 I 談話コミュニ ケーション論 II 日本語学 I 日本語学 I 異文化論 I 異文化論 I メ 照言語コミュニケーション論 I 対照言語コミュニケーション論 I 数話言語演習	2後 2前 2後 2前 2後 2前 2を 2・3 2・3 2・3 2・3 1 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3 3 2・3 3 4 5 6 7 7 8 9 <td< td=""><td>2 2 2 2 2 2 2</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td>1</td></td<>	2 2 2 2 2 2 2	1	1			1
付目	門発展科	ケーション論 I 談話コミュニケーション論 II 日本語学 I 日本語学 I 異文化論 I 異文化論 I 異文化論 I 素文化論 I 素素語コミュニケーション論 I 表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	2後 2前 2後 2前 26 2前 26 2前 2・3前 2・3前 2・3後 2・3 3 3 4 4 5 6 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 </td <td>2 2 2 2 2 2 2 1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td>	2 2 2 2 2 2 2 1	1	1			1
件目	門発展科	ケーション論 I 下	2後 2前 26 2前 2 2前 2·3前 2·3前 2·3前	2 2 2 2 2 2 2 1 1	1	1	1		1
付目	門発展科	ケーション論 I 談話コショコニケーション論 I 日本語学 I 日本語学 I 異文化論 I 異文化論 I 異文化論 I 異文化論 I 地域言語コミュニケーション論 I 地域言語コミュニケーション演習	2後 2前 26 2前 26 2前 2·3 2·3 2·3 2·3 2·3 2·3	2 2 2 2 2 2 1 1 1	1 1 1	1	1		1
科目	門発展科	ケーション論 I 下	2後 2前 26 2前 24 2前 2·3前 2·3前 2·3前 2·3前 2·3前 2·3前 2·3前 2·3前	2 2 2 2 2 2 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	1	1		1
竹目	門発展科	 ケーション論 I 談話一 中本語 I 日本語 I 日本語 I 異文化論 I 異文化論 I 対照言語コミュニケーション論 I 対照言語 i 対照言語 i 該話コミュニケーション演習 地域言語コミュニケーション演習 異文化 心ション演習 異文化 (心ション演習 異次の記録 	2後 2前 26 2前 24 2·3 2·3 2·3 2·3 2·3 2·3 2·3	2 2 2 2 2 2 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	1	1		1

専門	専門	英語エクスプレッションスキル	2· 3·4	2	1				
教育	発展	韓国語エクスプレッションスキル	前 2・ 3・4	2		1			
科目	科目	中国語エクスプレッションスキル	前 2・ 3・4	2			1		
		臨床心理学	前 2前	2	1		'		
		心理学研究法				4			
			2前	2	3	1			1
		心理学統計法	2前	2					1
		心理測定法	2前	2	1				
		人格心理学	3前	2	1				
		知覚心理学	2後	2	1				
		学習心理学	2前	2					1
		神経心理学	3後	2					1
		生理心理学	3後	2					1
		キャリア発達の心理学	3前	2	2	1			
		健康・医療心理学	3前	2					1
		発達心理学	2前	2		1			
		教育相談	4後	2	1				
		対人関係論	3後	2		1			
		対人行動論	3後	2	1				
		対人認知論	3前	2	1				
		ソーシャルワークの基盤と専門職 I	2前	2	1				
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2後	2					1
		ソーシャルワークの理論と方法 I	2•3 前	2		1	1		
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2·3 後	2	1		1		
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	3•4 前	2			1		
		ソーシャルワークの理論と方法IV	3後	2			1		
		社会福祉概論Ⅱ	2·3 前	2					1
		地域福祉論Ⅱ	2· 3·4 前	2		1			
		刑事司法と福祉	型 2·3 前	2					1
		社会福祉施設運営論	2·3 後	2			1		
		社会保障論 I	3後	2					1
		社会保障論Ⅱ	4前	2					1
		公的扶助論	2· 3·4	2					1
		権利擁護と成年後見制度	<u>前</u> 3•4 前	2					1
		L	ار ار	94	7	3	2		11
専門	専門	英語エクスプレッション実践	2· 3·4	1					1
教育	発展	韓国語エクスプレッション実践	後 2・ 3・4	1		1			
科目	科目	中国語エクスプレッション実践	後 2· 3·4	1			1		
1		7.1.2.7.3.6%	後	'					

1	由		2•		1				
	専門発	英語エクスプレッションスキル	2· 3·4 前 2·	2	1				
	展科目	韓国語エクスプレッションスキル	3·4 前 2·	2		1			
	1	中国語エクスプレッションスキル	2 3•4 前	2			1		
		臨床心理学	2前	2	1				
		心理学研究法	2前	2	3	1			1
		心理学統計法	2前	2					1
		心理測定法	2前	2	1				
		人格心理学	3前	2	1				
		知覚心理学	2後	2	1				
		学習心理学	2前	2					1
		神経心理学	3後	2					1
		生理心理学	3後	2					1
		キャリア発達の心理学	3前	2	2	1			
		健康・医療心理学	3後	2					1
		発達心理学	2前	2		1			
		教育相談	4後	2	1				
		対人関係論	3後	2		1			
		対人行動論	3後	2	1				
		対人認知論	3前	2	1				
専門数	専門発	ソーシャルワークの基盤と専門職 I	2前	2	1				
教育科目	展科	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2後	2					1
目	目	ソーシャルワークの理論と方法 I	2•3 前	2		1	1		
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2·3 後	2	1		1		
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	3•4 前	2			1		
		ソーシャルワークの理論と方法IV	3後	2			1		
		社会福祉概論Ⅱ	2•3 前	2					1
		地域福祉論Ⅱ	2· 3·4 前	2		1			
		刑事司法と福祉	2•3 前	2					1
		社会福祉施設運 営論	2·3 後	2			1		
		社会保障論 I	3後	2					1
		社会保障論Ⅱ	4前	2					1
		公的扶助論	2· 3·4 前	2					1
		権利擁護と成年 後見制度	3•4 前	2					1
		小計(51科目)	_	94	7	3	3		10
専門教	専門発	英語エクスプレッション実践	2· 3·4 後	1					1
教育科品	展科	韓国語エクスプレッション実践	2· 3·4 後	1		1			
目	目	中国語エクスプレッション実践	2· 3·4	1			1		
		一国間一ノハノマノマコマス政	後						

l	l	国際コミュニケーションスキル	2•3								
			前 2•3		1		1		1		
		マルチ言語プロジェクト	後 2·3		2		1		1		
		プロジェクトツアーA	前 2·3		2		1		1		
		プロジェクトツアーB	後		2		2				
		心理学基礎実験	2前		1		1	1			1
		心理学実験 A	2後		1		1	1			1
		心理学実験B	3前		1		1	1			1
		社会心理学調査実習	3後		1		2				
		心理検査法実習	3後		1		1				1
		心理的アセスメント	3後		2		1				3
		臨床心理学演習	3前		1						1
		心理演習	3通		2		3	1			
		社会福祉士演習 I	4前		1			1	1		
		社会福祉士演習Ⅱ	4後		1			1	1		
		ソーシャルワーク演習 I	2前		2		1	1			
		ソーシャルワーク演習Ⅱ	2後		2		1		1		
		ソーシャルワーク演習Ⅲ	3前		2				1		1
		ソーシャルワーク演習IV	3後		2		1				1
		ソーシャルワーク演習V	4前		2		1		1		
		ソーシャルワーク実習指導 I	3前		1		1	1	1		1
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3後		1		1	1	1		1
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4前		1		1	1	1		1
		ソーシャルワーク実習I	3前		2		1	1	1		1
		ソーシャルワーク実習Ⅱ	3後		4		1	1	1		1
		小計(27科目)	_		41		6	3	2		8
2	<u>-</u> 卒	課題研究	3後	1			8	3	2		
4	卒業研究斗目	卒業研究	4通	4			7	3	3		
	화 를	小計(2科目)	-	5			8	3	3		
		社会科学基礎(言語・国語)	1前			1					1
		社会科学基礎(社会)	1前			1					1
	リメデ	自然科学基礎(数学)	1前			1					1
	ィア	自然科学基礎(理科)	1前			1					1
	ル	国際言語基礎(英語)	1前			1					1
		小計(5科目)	_			5					5
		図書館サービス概論	2·3 前			2					1
		情報サービス論	2·3 前			2					1
		児童サービス論	2·3 後			2					1
I	l		区								

										_
	国際コミュニケーションスキル	2•3 前		1		1		1		
	マルチ言語プロジェクト	2·3 後		2		1		1		
	プロジェクトツアーA	2•3 前		2				2		
	プロジェクトツアーB	2·3 後		2		2				
	心理学基礎実験	2前		1		2	1			1
	心理学実験A	2後		1		2	1			1
	心理学実験B	3前		1		2	1			1
	社会心理学調査実習	3後		1		2				
	心理検査法実習	3後		1		1				1
	心理的アセスメント	3後		2		1				3
	臨床心理学演習	3前		1						1
	心理演習	3通		2		3	1			
	社会福祉士演習 I	4前		1			1	1		
	社会福祉士演習Ⅱ	4後		1			1	1		
	ソーシャルワーク演習I	2前		2		1	1			
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2後		2		1		1		
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3前		2				1		1
	ソーシャルワーク演習IV	3後		2		1				1
	ソーシャルワーク演習V	4前		2		1		1		
	ソーシャルワーク実習指導 I	3前		1		1	1	1		1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3後		1		1	1	1		1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4前		1		1	1	1		1
	ソーシャルワーク実習I	3前		2		1	1	1		1
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3後		4		1	1	1		1
	小計(27科目)	_		41		6	3	3		8
	課題研究	3後	1			7	3	3		
	卒業研究	4通	4			7	3	3		
	小計(2科目)	-	5			7	3	3		
	社会科学基礎(言語・国語)	1前			1					1
J	社会科学基礎(社会)	1前			1					1
ل <u>ث</u>	自然科学基礎(数学)	1前			1					1
	自然科学基礎(理科)	1前			1					1
	国際言語基礎(英語)	1前			1					1
	小計(5科目)	_			5					5
	図書館サービス概論	2•3 前			2					1
	情報サービス論	2•3 前			2					1
	児童サービス論	2·3 後			2					1

自由科目

卒業研究科目

自由科目

ı	ı										
		情報サービス演習A	2·3 後			1					1
		情報サービス演習B	2•3 前			1		1			
	司書	図書館情報資源概論	1·2 後			2					1
 自	資格に	情報資源組織論	1·2 前			2					1
由科目	係る	情報資源組織演習A	1·2 後			1					1
	科目	情報資源組織演習B	2·3 前			1					1
		図書館基礎特論	1·2 後			1					1
		図書館サービス特論	2·3 後			1					1
		図書館情報資源特論	2•3 前			1					1
		図書・図書館史	1·2 後			1					1
		小計(13科目)	_			18		1			1
	ア 	デジタル・アーキビ スト概論	2•3 前			2					
	ビスト 資 ル	地域文化とデジタ ル・アーカイブ	2·3 後			2					
	格·科目	小計(2科目)	ı			4					1
	+	TOEIC対策	1 · 2 · 3 · 4			1	1				
	ャリ	韓国語検定対策	1 · 2 · 3 · 4			1		1			
	ア支援	中国語検定対策	1·2 ·3· 4前			1			1		
	」及	小計(3科目)	-			3	1	1	1		
	合	計(190科目)	-	16	269	30	10	4	3		52
1	_		- VIIV	- /-l			L	_	_		7

卒業要件及び履修方法

- (卒業要件(合計124単位以上 *自由科目を除く) ・基礎教育科目33単位以上(含 必修7単位、選択必修26単位以上)
- •専門教育科目66単位以上(必修4単位、選択必修62単位以上)
- •卒業研究科目5単位必修

必修科目(合計16単位)

- •基礎教育科目 6科目7単位
- •専門教育科目 3科目4単位 •卒業研究科目 2科目5単位

選択必修(下記の要件を満たし、合計88単位以上)

- ・基礎教育科目(26単位以上)
- 「基礎教養」より8単位以上
- 「地域事情」より4単位以上 中心科目(2単位以上)
- 「人間関係プロジェクトA・B・C」より2単位以上
- 専門基盤科目(22単位以上)
- 「人間の理解」より8単位以上
- 「関係の構築・調整」より4単位以上
- 「協働力」より4単位以上
- 専門発展科目(38単位以上)

「グローカルコミュニケーション領域」「心理総合領域」「福祉マネジメント領域」のどれ か1区分から20単位以上

実践領域の「「グローカルコミュニケーション実践」「心理総合実践」「福祉マネジメント 実践」の一区分から4単位以上

上記の必修・選択必修科目104単位に加え、基礎教育科目、専門教育科目から合わせて20単位以上、総計124単位以上を取得すること。

		情報サービス演習A	2•3									
		旧報リーころ側省A	後			1					1	
		情報サービス演習B	2•3 前			1		1				
	司書	図書館情報資源概論	1·2 後			2					1	
	資格に	情報資源組織論	1•2 前			2					1	
	係る	情報資源組織演習A	1·2 後			1					1	
	科 目	情報資源組織演習B	2•3 前			1					1	
		図書館基礎特論	1·2 後			1					1	
		図書館サービス特論	2•3 後			1					1	
		図書館情報資源特論	2•3 前			1					1	
		図書・図書館史	1·2 後			1					1	
	,	小計(13科目)				18		1			1	
	ア 	デジタル・アーキビ スト概論	2•3 前			2					1	
- 1	ビスト 資ル	地域文化とデジタ ル・アーカイブ	2·3 後			2					1	
	格・ 科 目	小計(2科目)				4					1	
	上	TOEIC対策	1· 2· 3·4			1	1					
	キャリ	韓国語検定対策	1 · 2 · 3 · 4			1		1				
	ア支援	中国語検定対策	1•2 •3• 4前			1			1			
	1次	小計(3科目)	-			3	1	1	1			
	合	計(190科目)	-	16	269	30	10	4	3		51	
			ن ميليد	ш <u>ь -m-</u> /	H TL 7	N = 14						

卒業要件及び履修方法

- (卒業要件(合計124単位以上 *自由科目を除く) ・基礎教育科目33単位以上(含 必修7単位、選択必修26単位以上)
- ·専門教育科目66単位以上(必修4単位、選択必修62単位以上)
- ·卒業研究科目5単位必修

必修科目(合計16単位)

- ·基礎教育科目 6科目7単位
- ·専門教育科目 3科目4単位
- •卒業研究科目 2科目5単位

選択必修(下記の要件を満たし、合計88単位以上)

- ・基礎教育科目(26単位以上) 「基礎教養」より8単位以上
- 「地域事情」より4単位以上
- ·中心科目(2単位以上)
- 「人間関係プロジェクトA・B・C」より2単位以上
- 専門基盤科目(22単位以上)
- 「人間の理解」より8単位以上
- 「関係の構築・調整」より4単位以上
- 「協働力」より4単位以上
- 専門発展科目(38単位以上)
- 「グローカルコミュニケーション領域」「心理総合領域」「福祉マネジメント領域」のどれか1区 分から20単位以上
- ・実践領域の「「グローカルコミュニケーション実践」「心理総合実践」「福祉マネジメント実践」 の一区分から4単位以上

上記の必修・選択必修科目104単位に加え、基礎教育科目、専門教育科目から合わせて20単位以上、総計124単位以上を取得すること。

【令和3年度】

		3 牛皮』	配	È	单位数	έt	車	任教	音等	の配	置	兼
科目 区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・・
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
基礎教	ゼ入	基礎ゼミI	1前	1			1	1	2			
育科目	ミ門	基礎ゼミⅡ	1後	1			1	1	2			
		文章表現の技術	1·2 後		2							1
		くらしと倫理学	1·2 後		2							1
		くらしと文学	1·2 後		2							1
		くらしと憲法	1•2 前		2							1
		くらしと経済	1·2 前		2							1
	基	くらしと哲学	1·2 前		2		1					
	礎教養	日本語のしくみ	1·2 前		2				1			
		ことばとコミュニケーション	1·2 後		2		1					
		民俗と歴史	1·2 後		2		1					
		社会学と社会システム	1前		2							1
		環境と生物を考える	1•2 前		2							6
		生物学の探究	1·2 前 1		2							1
		人間と宇宙を考える	後 • 2前		2		1					
		英語 I	1前	1			1					1
		英語Ⅱ	1後	1			1					1
		英語コミュニケーション I	1•2 前		1							2
		英語コミュニケーションⅡ	1·2 後		1							2
	外国	韓国語 I	1•2 前		1							1
	語	韓国語Ⅱ —————	1·2 後		1							1
		中国語 I	1•2 前		1				1			
		中国語Ⅱ	1·2 後		1				1			
		フランス語 I	1·2 前		1		1					
		フランス語Ⅱ	1·2 後		1		1					
	保健体	スポーツサイエンス I	1前		1							1
	育	スポーツサイエンスⅡ	1後		1							1
		コンピュータ基礎演習	1前	1			1					
		情報倫理	1前	2				1				
		情報検索	1後		1			1				
	情報処	情報処理演習 I	1後		1		1					
	理	情報処理演習Ⅱ	2前		1			1				
		情報処理演習 Ⅲ 	2後		1		1					
		ネットワーク応用演習	2後		1							1

	1									
		情報機器演習	2前		1		1			
		生涯学習概論	2後		2					1
	図書	図書館概論	1·2 前		2					1
	館	図書館制度・経営論	2後		2					1
		図書館情報技術論	1·2 前		2		1			
		山形の歴史・文化	1·2 後		2	1				
	地	山形の政治と行政	1·2 後		2					1
	域事情	山形の産業と経済	1·2 前		2					1
	113	山形のことばとくらし	1·2 後		2			1		1
		山形の信仰と伝承	1·2 前		2					1
		アメリカ事情	1·2 前		2					1
	海外東	ヨーロッパ事情	1·2 後		2	1				
	事情	中国事情	1·2 後		2			1		
		韓国事情	1·2 前 1·		2					1
	海	海外語学研修 A (英語)	2•3 •4		2	1				
	外研修	海外語学研修 B (韓国語)	1 · 2 · 3 · 4		2		1			
		海外語学研修 C (中国語)	1 · 2 · 3 · 4		2			1		
		ボランティア論	1前 1		2					1
	社会体	ボランティア活動実践	後· 2		1		1			
	験	企業研究	1·2 前		2					1
		インターンシップ	1·2 後		1					2
=		小計(55科目)	_	7	80	5	3	2		25
専門教育		人間関係論	1後	2		3	1			
育科目		人間関係演習 I	2前	1		3	3			
I	中	人間関係演習 Ⅱ 人間関係プロジェク	2後	1		3	3			
	心科目	トA (コミュニケー ションと心理) 人間関係プロジェク	3前		1	3				
		トB (福祉とコミュ ニケーション)	3前		1	1	1			
		人間関係プロジェク トC(心理と福祉)	3前		1	1	2			
		小計(6科目)	-	4	3	6	3			
		心理学概論A	1前		2					1
		心理学概論 B	1後		2	1				
		教育心理学	3前		2	1				
		障害者・障害児心理学	3後		2					1
		家族心理学	4前		2		1			
		福祉心理学	3前		2					1
		心理調査概論	2後		2	1				
		現代社会心理	1後		2	1				

_	_			 	 				
		多文化理解	2•3 前	2	1				
		社会福祉調査の基礎	2•3 前	2					1
		障がい者福祉論	1·2 後	2		1			
		児童福祉論	1·2 後	2					1
	専門	高齢者福祉論	2·3 前	2			1		
	基盤	医学概論	2·3 後	2					1
	科 目	関係構築の心理	1後	1	1	1			1
		産業・組織心理学	3前	2					1
		社会・集団心理学	2後	2	1				
		メディアと人間関係	2•3 前	2		1			
		文字表現論	1·2 後	2			1		
		対話表現論	1·2 後	2		1			
		地域と多文化	2·3 前	2					1
		地域共生論	2•3 前	2	1				
		異文化間コラボレーション	2·3 後	2	1				1
		保健医療と福祉	2·3 後	2	1				
		社会福祉概論 I	1·2 前	2	1	1			
		地域福祉論 I	1·2 前	2		1			
		小計(26科目)	-	51	7	5	2		10
専門数		くらしと地域	2·3 後	2	1				
教 育 科		地域政策論	2•3 前	2					1
目		談話コミュニ ケーション論 I	2前	2		1			
		談話コミュニ ケーション論Ⅱ	2後	2		1			
		日本語学 I	2前	2			1		
		日本語学Ⅱ	2後	2			1		
		異文化論 I	2前	2	1				
	 	異文化論Ⅱ	2後	2	1				
	専門発	対照言語コミュニ ケーション論 I	2前	2	1				
	展科目	対照言語コミュニ ケーション論 Ⅱ	2後	2	1				
		談話言語演習	2·3 前	1		1			
		談話コミュニ	2•3	1		1			
		ケーション演習	後	. —					
		地域言語演習	夜 2·3 前	1			1	 	
			2•3	1			1		
		地域言語演習 地域言語コミュニケーション演	2·3 前 2·3		1				
		地域言語演習 地域言語コミュニケーション演習	2·3 前 2·3 後 2·3	1	1				
		地域言語演習 地域言語コミュニケーション演 習 異文化演習 異文化コミュニ	2·3 前 2·3 後 2·3 前 2·3	1	·				
		地域言語演習 地域言語コミュニケーション演習 異文化演習 異文化演習 異文化コミュニケーション演習	2·3 前 2·3 台 2·3 前 2·3 2·3	1 1	1				

	専門	英語エクスプレッ	2· 3·4	2	1				
	発展	ションスキル 韓国語エクスプレッ	前 2· 3·4	2		1			
	科目	ションスキル 一 中国語エクスプレッ	前 2•			'			
		ションスキル	3•4 前	2			1		
		臨床心理学	2前	2	1				
		心理学研究法	2前	2	3	1			1
		心理学統計法	2前	2					1
		心理測定法	2前	2	1				
		人格心理学	3前	2	1				
		知覚心理学	2後	2	1				
		学習心理学	2後	2					1
		神経心理学	3後	2					1
		生理心理学	3後	2					1
		キャリア発達の心理学	3前	2	2	1			
		健康・医療心理学	3後	2					1
		発達心理学	2前	2		1			
		教育相談	4後	2	1				
		対人関係論	3後	2		1			
		対人行動論	3後	2	1				
		対人認知論	3前	2	1				
専門	専門	ソーシャルワークの 基盤と専門職 I	2前	2		1			
門教育	門発展		2前 2後	2		1			1
門教	門発	基盤と専門職 I ソーシャルワークの				2			1
門教育科	門発展科	基盤と専門職 I ソーシャルワークの 基盤と専門職 II ソーシャルワークの	2後 2·3	2			1		1
門教育科	門発展科	基盤と専門職 I ソーシャルワークの 基盤と専門職 II ソーシャルワークの 理論と方法 I ソーシャルワークの	2後 2·3 前 2·3 後 3·4	2		2	1		1
門教育科	門発展科	基盤と専門職 I ソーシャルワークの 基盤と専門職 I ソーシャルワークの 理論と方法 I ソーシャルワークの 理論と方法 I ソーシャルワークの 理論と方法 I ソーシャルワークの	2後 2·3 前 2·3 後	2 2 2		2			1
門教育科	門発展科	基盤と専門職 I ソーシャルワークの 基盤と専門職 II ソーシャルワークの 理論と方法 I ソーシャルワークの 理論と方法 II ソーシャルワークの 理論と方法 II ソーシャルワークの フリーシャルワークの	2後 2·3 前 2·3 後 3·4 1 2·3	2 2 2		2	1		1
門教育科	門発展科	基盤と専門職 I ソーシャルワークの 基盤と専門職 II ソーシャルワークの 理論と方法 I ソーシャカ法 II ソーシャルワークの 理論と方法 II ソーシャルワークの 理論と方法 II ソーシャルワークの 理論と方法 II ソーシャルアークの 理論と方法 II	2後 2·3 6 3·4 3 6 2·3 6 2·3 7 2·3 8	2 2 2 2 2		2	1		
門教育科	門発展科	基盤と専門職 I ソーシャルワークの 基盤と専門職 II ソーシャルワークの 理論と方法 I ソーシャルカフークの 理論と方法 II ソーシャルカフークの 理論と方法 II ソーシャルワークの 理論と方法 II ソーシャルロークの 理論と方法 II ソーシャルロークの 理論と オルワークの 理論と オルロークの 理論と オルロークの 理論と オルロークの 理論と オルロークの 理論と オルロークの 理論と オルロークの	2後 2·3 3·4 3·4 2·3 1 2·3 2·3 2·3 2·3 2·4 2·3	2 2 2 2 2 2		2 1	1		
門教育科	門発展科	基盤と専門職 I ソーシャ 専門職 I ソーシャ専門職 I ソーシャ 専門 ルワークの 理論と カ・ル カ ロークの 理論と カ・ル カ ロークの 理論と カ・ルカ II ソーシャ カ 法 II ソーシャ カ 法 II ソーシャ カ 法 II ソーシャ カ は 概論 II 地域 福祉 論 II 土 地域 福祉 施設 運	2後 2·3 2·3 3·4 3·4 2·3 2·3 1 2·	2 2 2 2 2 2 2		2 1	1		1
門教育科	門発展科	基盤と専門職 I ソーシャルワークの 基盤と専門職 I ソーシャルカス I ソーシャルカス I ソーシャルカス I ソーシャカ法 I ソーシャカ法 II ソーシャカ法 II ソーシャカ法 II ソーシャカ法 II ソーシャカ法 II リークの 理論と方 オルワークの 理論と オルワークの 理論と II 地域 福祉 論 II 地域 福祉 論 II 刑事司法と福祉	2後 2·3 3·4 3·4 2·3 1 2 2 3 4 5 6 7 8 9 9 1 1 1 1 1 1 2 2 2 3 4 4 5	2 2 2 2 2 2 2 2		2 1	1		1
門教育科	門発展科	基盤と専門職 I ソ連と専門職 I ソーシャ専門ルワークの 理論と対決 I ソ理論と対決 I ソ理論と対決 I ソ理論と対決 I ソ理論と対 * ルルリ II ソ理論と対 * ルルルリ II ソ理論と対 * ルルルリ II ソ理論と対 * ルルは II 地域 福祉 論 II 地域 福祉 を	2後 2·3 2·3 前 3·4 2·3 2·3 前 2·3 1·3 2·3 1·3	2 2 2 2 2 2 2 2 2		2 1	1		1
門教育科	門発展科	基盤と専門職 I ソーシャ 専門職 I ソーシャ 専門 ルワークの 理論と キャルは I ソー論と カークの 理論と オーカは II ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2後 2·前 2·後 3·前 3·4 2·前 2·3前 2·3前 2·3前 2·3前 2·3前 2·3前 2·3 4 <tr< td=""><td>2 2 2 2 2 2 2 2 2 2</td><td></td><td>2 1</td><td>1</td><td></td><td>1 1</td></tr<>	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		2 1	1		1 1
門教育科	門発展科	基盤と専門職 I ソ基と専門 ルファ II ソ理 リー カークの ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2後 2·前 2·後 3·前 3·6 2·前 2·3 1 2·3 2·3 1 2·3 2·3 1 3·4 3·4 3·4	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		2 1	1		1 1 1
門教育科	門発展科	基盤と専門職 I ソ基と専門 N I ソ理	2後 2·前 2·後 3·前 3·6 2·前 2·3 1 2·3 2·3 1 2·3 2·3 1 2·3 2·3 1 2·3 3·4 4 1 2·4 3·4 4 1 2·4 3·4 4 1 2·4 3·4 4 1 2·4 4 1 </th <th>2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2</th> <th>6</th> <th>2 1</th> <th>1</th> <th></th> <th>1 1 1 1</th>	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	6	2 1	1		1 1 1 1
門教育科目 専	門発展科目	基盤と専門職 I ソ選 ソ理 ソ	2後 2·前 2·後 3·前 3後 2·前 2·3 前 2·3 前 2·3 前 3·4 前 2·3 前 3·4 前 3·	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	6	2 1	1 1		1 1 1 1 1
門教育科目	門発展科目	基盤と専門職 I ソ選 ソ理 ソ	2後 2·前 2·後 3·前 3後 2·前 2·3 前 2·3 6 3 4 2·3 前 3·4 6 2·3 4 2·3 6 3 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 94	6	2 1	1 1		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
門教育科目 専門教	門発展科目	基盤と専門職 I ソ選 ソ理 ソ理 ソ理 ソ理 ソ理 ソ理 ソ理 ソ理 ソ理 ソ	2後 2·前 2·後 3·前 36 2·前 2·3 前 2·3 前 2·3 前 2·3 前 2·3 前 3·4 前 2·3 前 3·4 後 2·3 前 3·4 前 3·4 前 3·4 後 2·3 前 3·4 前 3·	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1	6	1 1 4	1 1		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

	ı									r	,	
		国際コミュニケー ションスキル	2·3 前		1		1		1			
		マルチ言語プロジェクト	2·3 後		2		1		1			
		プロジェクトツア	2•3 前		2				2			
		プロジェクトツア	2·3 後		2		2					
		心理学基礎実験	2前		1		2	1				1
		心理学実験A	2後		1		2	1				1
		心理学実験B	3前		1		2	1				1
		社会心理学調査実習	3後		1		2					
		心理検査法実習	3後		1		1					1
		心理的アセスメン	3後		2		1					3
		臨床心理学演習	3前		1							1
		心理演習	3通		2		3	1				
		社会福祉士演習I	4前		1			1	1			
		社会福祉士演習Ⅱ	4後		1			1	1			
		ソーシャルワーク演習I	2前		2		1	1				
		ソーシャルワーク演習Ⅱ	2後		2		1		1			
		ソーシャルワーク演習Ⅲ	3前		2				1			1
		ソーシャルワーク演習Ⅳ	3後		2		1					1
		ソーシャルワーク演習V	4前		2		1	1	1			
		ソーシャルワーク実習指導 I	3前		1		1	2	1			1
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3後		1		1	2	1			1
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4前		1		1	2	1			1
		ソーシャルワーク実習 I	3前		2		1	2	1			1
		ソーシャルワーク実習Ⅱ	3後		4		1	2	1			1
		小計(27科目)	_		41		6	4	3			8
石	左 美	課題研究	3後	1			7	4	3			
百	开 宅 斗	卒業研究	4通	4			7	4	3			
Ē	† 	小計(2科目)	ı	5			7	4	3			
		社会科学基礎 (言語・国語)	1前			1						1
	IJ	社会科学基礎(社会)	1前			1						1
自由	メデ	自然科学基礎(数学)	1前			1						1
科目	ィアル	自然科学基礎(理科)	1前			1						1
		国際言語基礎(英語)	1前			1						1
		小計(5科目)	_			5						5
自由科		図書館サービス概論	2•3 前			2						1
科目		情報サービス論	2•3 前			2						1
		児童サービス論	2·3 後			2						1
. !			Į.					1				

	情報サービス演習A	2·3 後			1					1
	情報サービス演習B	2·3 前			1		1			
司書	図書館情報資源概論	1·2 後			2					1
資 格	情報資源組織論	1•2 前			2					1
に 係 る	情報資源組織演習A	1·2 後			1					1
科目	情報資源組織演習B	2•3 前			1					1
	図書館基礎特論	1·2 後			1					1
	図書館サービス特論	2•3 後			1					1
	図書館情報資源特論	2•3 前			1					1
	図書・図書館史	1·2 後			1					1
	小計(13科目)	_			18		1			1
ア キ準	デジタル・アーキビ スト概論	2•3 前			2					1
ビスト う う	地域文化とデジタ ル・アーカイブ	2•3 後			2					1
格· 科 目	小計(2科目)	_			4					1
+	TOEIC対策	1· 2· 3·4			1	1				
ヤリ	韓国語検定対策	1 · 2 · 3 · 4			1		1			
ア 支 援	中国語検定対策	1·2 ·3· 4前			1			1		
1100	小計(3科目)	-			3	1	1	1		
合	計(190科目)	-	16	269	30	10	5	3		50

卒業要件及び履修方法

(卒業要件(合計124単位以上 * 自由科目を除く)

- ·基礎教育科目33単位以上(含 必修7単位、選択必修26単位以上)
- ·専門教育科目66単位以上(必修4単位、選択必修62単位以上)
- •卒業研究科目5単位必修

必修科目(合計16単位)

- ・基礎教育科目 6科目7単位
- •専門教育科目 3科目4単位
- •卒業研究科目 2科目5単位

選択必修(下記の要件を満たし、合計88単位以上)

- ·基礎教育科目(26単位以上) 「基礎教養」より8単位以上
- 「地域事情」より4単位以上
- 中心科目(2単位以上)
- 「人間関係プロジェクトA・B・C」より2単位以上
- 専門基盤科目(22単位以上)
- 「人間の理解」より8単位以上
- 「関係の構築・調整」より4単位以上 「協働力」より4単位以上
- 専門発展科目(38単位以上)

「グローカルコミュニケーション領域」「心理総合領域」「福祉マネジメント領域」のどれ か1区分から20単位以上

・実践領域の「「グローカルコミュニケーション実践」「心理総合実践」「福祉マネジメント 実践」の一区分から4単位以上

上記の必修・選択必修科目104単位に加え、基礎教育科目、専門教育科目から合わ せて20単位以上、総計124単位以上を取得すること。

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を 黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。 (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。 その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。 (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令オ

【令和3年度】

- ・学生の学修環境の利便性を考慮し、「人間と宇宙を考える」の開講時期を「1・2前期」から「1後・2前」に変更。
- ・教員数のカウント間違いにより、基礎教育科目小計の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に変更。
- ・教員数のカウント間違いにより、専門教育科目中心科目小計の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・教員数のカウント間違いにより、専門教育科目専門基盤科目の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。
- ・教員数のカウント間違いにより、専門教育科目専門発展科目の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・教員数のカウント間違いにより、合計の兼任・兼担を「51」から「50」に変更。
- ・計算間違いにより、単位数自由の合計「27」から「30」に変更。

【令和4年度】

- ・担当教員の産休取得により、「基礎ゼミI」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授1」、「講師2」から 「教授2」、「准教授1」、「講師1」に変更
- ・担当教員の産休取得により、「日本語のしくみ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更
- ・学生の学修環境を考慮し、「人間と宇宙を考える」の開講時期を「1後・2前」から「1・2前」に変更。 ・担当教員の持ちコマの関係のため「ネットワーク応用演習」の開講時期「2後」から「2前」に変更
- ・担当教員の持ちコマの関係のため「情報機器演習」の開講時期「2前」から「2後」に変更
- ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い「ボランティア活動実践」の担当教員を変更(【変更後】准教授 下村美保AC教員審査済)
- ・新型コロナウィルス感染症の影響のため「企業研究」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更
- ・新型コロナウィルス感染症の影響のため「インターンシップ」の開講時期を「1・2後」から「2前」に変更
- ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い「人間関係論」の専任教員配置を「教授3」、「准教授1」から「教授3」に変更
- ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い「人間関係演習I」の担当教員を変更(【変更後】准教授 下村美保AC教員審査済)
- ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い「人間関係演習Ⅱ」の担当教員を変更(【変更後】准教授 下村美保AC教員審査済)
- ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い、「人間関係プロジェクトC(心理と福祉)」の専任教員等の配置を「教授1」、 「准教授2」 から「教授2」、「准教授1」に変更。
- ・担当教員 (准教授 南條正人) の退職に伴い、「障がい者福祉論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」、「講師1」に変 更。
- ・担当教員 (兼任 菊地惇)の就任辞退に伴い、「医学概論」の担当教員を変更 (兼任 井上京子)
- ・担当教員の産休に伴い「地域言語演習」の、担当教員を変更(兼任 坂喜美佳)
- ・担当教員の都合により「学習心理学」の開講時期を「2後」から「2前」に変更
- ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い、「ソーシャルワークの基盤と専門職 I 」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」 に変更。
- ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い、「ソーシャルワークの理論と方法 I 」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」、 「講師1」に変更。
- ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」、「講師1」から 「教授1」、「講師1」に変更。
- ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い「ソーシャルワーク演習 I 」の担当教員を変更 (【恋恵後】 推教授 下村美保配教員家本答)
- (【変更後】准教授 下村美保AC教員審査済)
- ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い、「ソーシャルワーク演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」、「兼任1」から 「講師1」、「兼任1」に変更。(なお、申請時の教員配置にチェックミスがあり。正しくは、「講師1」ではなく、「准教授1」である)
- ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い「ソーシャルワーク演習 V 」の担当教員を「教授1」、「准教授1」、「講師1」から 「教授1」、「講師1」に変更
- ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い「ソーシャルワーク実習指導 I 」の担当教員を「教授1」、「准教授2」、「講師1」、 「兼任1」から「教授1」、「准教授1」、「講師1」、「兼任1」に変更
- ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」の担当教員を「教授1」、「准教授2」、「講師1」、 「兼任1」 から「教授1」、「准教授1」、「講師1」、「兼任1」に変更
- ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い「ソーシャルワーク実習指導皿」の担当教員を「教授1」、「准教授2」、「講師1」、「兼任1」から「教授1」、「准教授1」、「講師1」、「兼任1」に変更
- ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い「ソーシャルワーク実習」の担当教員を「教授1」、「准教授2」、「講師1」、「兼任1」から 「教授1」、「准教授1」、「講師1」、「兼任1」に変更 ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い「ソーシャルワーク実習Ⅱ」の担当教員を「教授1」、「准教授2」、「講師1」、
- 「兼任1」から 「教授1」、「准教授1」、「講師1」、「兼任1」に変更 ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い「課題研究」の担当教員を「教授7」、「准教授4」、「講師3」から「教授7」、
- 「准教授3」、「講師3」に変更 ・担当教員(准教授 南條正人)の退職に伴い「卒業研究」の担当教員を「教授7」、「准教授4」、「講師3」から「教授7」、

「准教授3」、「講師3」に変更

- 【令和5年度】 ・担当教員の産休育休取得及び時間割の関係のため、「基礎ゼミI」の専任教員等の配置を「教授2」、「准教授1」、「講師1」から 「教授1」、「准教授2」、「講師1」に変更。
- ・担当教員の産休育休取得に伴い、「基礎ゼミI」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授1」、「講師2」から「教授1」、「推教授2」、「講師1」に変更
- 「教授1」、「准教授2」、「講師1」に変更。 ・担当教員の産休育休取得に伴い「日本語のしくみ」の、担当教員を変更(兼担 須賀一好)。
- ・担当教員の産体育体取得に伴い、「山形のことばとくらし」の専任教員等の配置を「講師1」、「兼任1」から「教授1」、「兼任1」に変更。
- ・担当教員の産休育休取得に伴い「日本語学Ⅰ」の、担当教員を変更(兼担 須賀一好)。
- ・担当教員の産休育休取得に伴い「日本語学Ⅱ」の、担当教員を変更(兼担 須賀一好)
- ・担当教員の産休育休取得に伴い「地域言語演習」の、担当教員を変更(兼任 坂喜美佳)。
- ・担当教員の産休育休取得に伴い「地域言語コミュニケーション演習」の、担当教員を変更(兼任 坂喜美佳)。
- ・担当教員の産休育休取得に伴い「マルチ言語プロジェクト」の担当教員を黒沢晶子教授と、津坂貢政講師に変更。
- ・担当教員の産休育休取得に伴い、「プロジェクトツアーA」の専任教員配置を「講師3」から「教授1」、「講師1」に変更。 ・担当教員の産休育休取得に伴い、「課題研究」の専任教員等の配置を「教授7」、「准教授3」、「講師3」から
- 「教授8」、「准教授3」、「講師2」に変更 。

【令和6年度】

- ・担当教員の退職に伴い「人間関係演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3」、「准教授3」から 「教授2」、「准教授3」に変更。 ・担当教員の退職に伴い「人間関係演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3」、「准教授3」から「教授2」、「准教授3」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い「人間関係プロジェクトA (コミュニケーションと心理)」の専任教員の配置等を「教授3」から「教授2」 に変更。
- 担当教員の退職に伴い「心理学概論B」担当教員を変更(兼任 伊藤朋子)。
- ・「社会福祉調査の基礎」の開講時期を、担当教員本務校の授業の関係により「2・3前期」から、「2・3後期」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い「関係構築の心理」の担当を、「教授1」、「准教授1」、「兼任講師1」から「准教授1」、「兼任講師1」
- ・担当教員の退職に伴い「臨床心理学」の担当を、「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い「心理学研究法」の担当を、「教授3」、「准教授1」「兼担准教授1」から「教授2」「准教授1」「兼担教授1」 に変更。
- ・担当教員の退職に伴い「キャリア発達の心理学」の専任教員の配置等を「教授2」、「准教授1」から「教授1」、「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い「教育相談」の担当を、「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い「対人認知論」の担当を、「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い「心理学基礎実験」の専任教員の配置等を「教授2」、「准教授1」、「兼担准教授1」から「教授1」、 「准教授1」、「兼担教授1」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い「心理学実験A」の担当を、「教授2」、「准教授1」、「兼担准教授1」から「教授1」、「准教授1」、 「兼担教授1」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い「心理学実験B」の担当を、「教授2」、「准教授1」、「兼担准教授1」から「教授1」、「准教授1」、 「兼担教授1」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い「心理検査法実習」の担当教員を変更(兼担講師 岡村恵里子)
- ・担当教員の退職に伴い「心理的アセスメント」の担当を、「教授1」「兼任講師3」から、「兼任講師3」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い「心理演習」の担当を、「教授3」、「准教授1」から、「教授2」、「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職及び、産休育休からの復帰に伴い「課題研究」の担当を「教授8」、「准教授3」「講師2」から、「教授6」、 「准教授3」、「講師3」に変更。
- ・担当教員の退職伴い「卒業研究」の担当を「教授7」、「准教授3」、「講師3」から「教授6」、「准教授3」、「講師3」に変更。
- ・担当教員の退任に伴い、「生涯学習概論」の担当教員を変更(兼任 滝口克典)
- ・担当教員の退職に伴い、「インターンシップ」の担当教員を「兼任講師2」から「兼任講師変更1」に変更。
- ・担当教員担当辞退に伴い、「刑事司法と福祉」の担当教員を変更(兼任 粟野和之)
- ・担当教員の退職に伴い、「臨床心理学演習」の担当教員を変更(兼担 岡村恵里子)。
- ・担当教員産休育休からの復帰に伴い、「基礎ゼミI」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授2」、「講師1」から「教授1」、 「准教授1」、「講師2」に変更。
- ・担当教員産休育休からの復帰に伴い、「基礎ゼミⅡ」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授2」、「講師1」から「教授1」、 「准教授1」、「講師2」に変更。
- ・担当教員担当教員の産休育休からの復帰に伴い、「日本語のしくみ」の、担当教員を「兼担1」から「講師 1 」に変更。
- ・担当教員担当教員の産休育休からの復帰に伴い、「山形のことばとくらし」の専任教員等の配置を「教授1」、「兼任1」から 「講師1」、「兼任1」に変更。
- ・担当教員担当教員の産休育休からの復帰に伴い、「日本語学 I 」の担当教員を「兼担1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員担当教員の産休育休からの復帰に伴い、「日本語学Ⅱ」担当教員を「兼担1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員担当教員の産休育休からの復帰に伴い、「地域言語演習」の担当教員を「兼任1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員担当教員の産休育休からの復帰に伴い、「地域言語コミュニケーション演習」の担当教員を「兼任1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員担当教員の産休育休からの復帰に伴い、「プロジェクトツアーA」の専任教員配置を「教授1」、「講師1」から「講師2」 に変更。
- (注)・2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

	設置時	の計画			変更	状況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	1)用行	
11 科目	156 科目	23 科目	190 科目	科目	科目	科目	私日	(記入例:指定規則の場合) 【旧カリキュラム】 設置時の計画:必修〇科目、選択〇科目、自由〇科目、 計(A) 〇科目 変更状況:必修〇科目、選択〇科目、自由〇科目、 計〇科目

- (注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合: Δ 1)
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム) の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と 設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	生理心理学	2	3	専門	選択	隔年開講のため
2	対人関係論	2	3	専門	選択	隔年開講のため
3	対人行動論	2	3	専門	選択	隔年開講のため

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ <u>履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。</u>
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

,	,	

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。 (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計 % 1.57 設置時の計画の授業科目数の計(A)

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	(1) 区 分							内					ş	容				備考
(1)		区	分			専	用	共	用			用する 校等σ				計		東北文教大学短期大学 部と共用
		校翁	舎 敷 坩	<u>h</u>			4, 958㎡			910㎡ 253㎡			2, 238 1, 932					水路等移設に伴う山形 市との土地交換及び購 入による面積変更(4)
校		運動	协場用地	ļ			0m²			084㎡ 962㎡			()m²		5, 4,	084㎡ 962㎡	再測量の結果、面積増 (3)
地		小	計	-			4, 958m²			994㎡ 215㎡			2, 238 1, 932				190㎡ 105㎡	
等		そ	の他	ļ.			0m²		4,	090㎡ 124㎡ 806㎡			()m²		4,	090 m 124 m 806 m	
		合	計	-			4, 958m²		34,	084㎡ 118㎡ 021㎡			2, 238 1, 932			41.	280 m 3 41 m 911 m	
						専	用	共	用			用する 校等σ				計		大学全体
(2) 校			舎				2, 496m ² , 552m ² , 495m ²			490㎡ 454㎡			2, 077 2, 021 1, 900	- m ²			063㎡ 850㎡	一部短期大学部と共用 学園本部移転に伴う校 舎面積変更(6)
	-(-2,4 -(-2,4 (-2,4), 490㎡)), <mark>454㎡</mark>)	-	_	2, 07 2, 02 1, 90	1 m²)	_	(14 (13	, 063㎡) , <mark>850㎡</mark>)	_	学内按分変更のため面 積増減(4)	
	講義					義室 演習			室実験実習			情報	処理学 習	施設	施設 語学学習施設		<u></u>	
(3) 教		室	等			113	쿹	7室			4室	(補助	磁品	3室 3人)	(大井 日本)	啦 昌	0室 人)	
							新設学部	生の名称	名称			(相切)	^{戦員} 室	3人)		補助職員 人) ———— 数		
(4) 専	任教	員研究	室											<u></u> 室				
(5)	亲	新設学者 の名			図 :	書		間科学部 人間関係学科 学術雑誌 [うち外国書] 電子ジャー					覚資料	機械・	器具	標	本	
		07-1	יניק			Ħ	TI	種	〔う゛	うち外国書〕		点		点			点	大学全体 短期大学部との共用
図書•)	人間科賞	学部		4 [3, i	209〕 209〕)		19 (4) 19 (4)	((2) (2))	(2	200 00)	(539	539	(0	0	部 分を含む 図書 90,752冊
設 備		計		34,	914 [3, 209]		19 (4) 19 (4))	(7	(2) (2))		200	(539	539	(0	Ū	学術雑誌 58種 視聴覚資料 1069点 機械・器具 122点
	(34, 914〔3, 209〕						 積		·	座牌		•	収	納可			<u></u> 数	
(6) 図							1, 70	0m²				175				12	0, 000	大学全体
(7) 体						積			体	育館以タ	小のス ァ	ポーツ施	設の概要	Ę				
(7) 14						1, 490n	าํ๗゚フッ	トサノ	レコ	-	1 面						大学全体	
	経費 ———			<u> </u>	分		開設年度	完成年度	隻	区	分	開設的	前年度	開設年	度	完成年	F度	
(8) 終費 <i>(</i> 7	ᇂ轟の目 積り ┣━━━━						300千円	300=	-	図書購え		5, 9	90千円	_	千円	-	千円	
積り及	性質の見 責り及び 維持方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						200千円	2007		ひ備購 <i>。</i>			千円	-	千円	-	千円	
の概	要:	学生 1 納作			第1年次		第2年次		3年次	_	第4年			5 年次		第6年		
	-				1, 262		982寸		982千		982千円 - 千円 - 千円 運用収入、雑収入等				۲	_	千円	
		子生	. 附竹金	以外の組	证付力	広い概	安 私立大	子寺栓吊貫	們別金、	貝圧	理用収/	、 雅川	x八寺					

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、<u>その他の</u> 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東北文	教大学										収容定員充足 率0.7倍以下の 学科数	C	収容定員充足) 率1.15倍以上 の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	(の	E員変更 年度 (AC期間 D学科の み)	開設年度	所在地		備	考	
	年	人	年次 人	人		倍	任	<u> </u>	年度	年度					
人間科学部			3 年次												
子ども教育学科	4	70	5	290	学士	0. 92	-		-	平成22	山形県山形市片谷地515				
<u>人間関係学科</u>	4	70	5	250	学士 (人間関係 学)	0. 76	-		-	令和3	山形県山形市片谷地515				
大学全体	-	130	10	540	-	-	-		-	-	-				

大学の名称	東北文教	大学短期:	大学部									収容定員充足 率0.7倍以下の 学科数	収容定員充足 2 率1.15倍以上 の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)		定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地		備考	
	年	人	年次 人	人		倍		倍	年度	年度				
子ども学科	2	100	-	200	短期大学士 (子ども学)	0. 63	-		-	平成17	山形県山形市片谷地515			
現代福祉学科	2	30	-	90	短期大学士 (現代福祉 学)	0. 40	-		-	平成13	山形県山形市片谷地515			
短期大学全体	-	130	-	290	_	-	-		-	-	-			

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等
 - (短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(<u>大学院、専攻科及び別科を除く</u>)。
 - なお、<u>本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません</u>。
 - ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、
 - 「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「一」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 - 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、<u>必ず下線を引いてください</u>。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。
 - ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。 また、<u>0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。</u>
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載の コメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<人間科学部 人間関係学科>

(1)一① 担当教員表

【認可]時又	は届出時】	【令	和3年	度】	【令和	和4年	度】		【令和	05年	度】	【 令	和6年	度】
専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 乗任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	身	享任 · 東担 · 東任 D別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	. 職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
専		では、1 (52) (52) (52) (52) (52) (52) (52) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	専	教授	花(52) (52) (52) (52) (52) (52) (52) (52) (52) (52) (6) (6) (6) (7) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	専	教授	花(53) (53) (53) (53) (53) (53) (53) (53) (53) (53) (53) (53) (53) (53) (53) (7) (7) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (9) (9) (9) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1		専	教授	花屋 (54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) > (54			
専		大江 篤志 (72) 〈令和3年4月〉 博士 (文学) 人間関係プロジェクトA (コロジェクトA (コロジェクトA (コロジェクトA (コロジェクトA (コロジェクトA (コロジェクト A (ロロジェク・) は、 ロジェク・ ・集団心理学・ ・集団心理学・ ・な理学・ ・な理学・ ・な理学・ ・な要学・ ・な要学・ ・な要学・ ・な要学・ ・な要学・ ・な要学・ ・な要で、 ・な要ので、 ・な要ので、 ・な要ので、 ・な要ので、 ・な要ので、 ・な要ので、 ・な要ので、 ・なので、 ・ ・ ・なので、 ・ とので、 ・ とので、 ・ とので、 とので、 とので、 とので、 とので、 とので、 とので、 とので、	専	教授	大江 篤志 (72) 〈令和3年4月〉 博士 (文学) 人間関係 プロジェクトA (プロジェクトA (プロジェクト) (利用) (プロジェクト) (利用) (プロジェクト) (利用) (プロジェクト) (利用) (プロジェクト) (利用) (利用) (利用) (利用) (利用) (利用) (利用) (利用)	専	教授	大江 篤志 (73) <令和3年4月> 博士 (文学) 人間関係な文学) 人間関ニンと心理 のである。 人間関ニンとのでは、 人間関ニンとのでは、 人間関ニンとのでは、 のである。 は、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 の		申	教授	大江 篤志 (74) <令和3年4月> 博士 (文学) 人間関係プロジェクトA (コランタンのでは、 人間関係プロジェクトA (コランタンのでは、 大一ションと心理) 現代社会心理 社会・集団心理学 心理学研究法※ 社会の理学 心理学可理学 心理学研究法等 社会の理学 でのできる。	専	教授	大江 第志 (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75)
専	教授	黒沢 67) (67) (67) (67) (67) (67) (67) (67) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7)	專	教授	黒(67) (67) (67) (67) (67) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (専		黒沢(68) (68) (令和3年4月) (令和3年4月) (令和3年4月) (令和3年4月) (令和3年4月) (中世) (本本)		専	教授	黒沢 (69) (69) 〈令和3年4月〉 博士(言語学) こと間関係 を強い を強い を強い を対し を対し を対し では を対し では を対し では のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは	專	教授	黒(70) (70
専	教授	今井(阿部) (56) (56) (56) (56) (56) (56) (7 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2	専	教授	本 (56) (56) (56) (74) (75) (専	教授	今井(57) 今和3年4月> 令和3年4月> 令和3年4月> 令を士 「三年では、「一年では、「一年では、「一年では、「一年では、「一年では、「中年では、		中	教授	今井(阿(58) (58) (58) (58) (58) (6) (7) (7) (7) (7) (8) (8) (8) (9) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	専	教授	本 (59) (59) (59) (79) (79) (79) (79) (79) (79) (79) (7
専		菊地 和博 (71) <令和3年4月> 博士(文学) 民俗と歴史 山形の歴史・文化 地域共生論 くらしと地域 課題研究 卒業研究	専	教授	菊地 和博 (71) <令和3年4月> 博士(文学) 民俗と歴史 山形の歴史・文化 地域共生論 くらしと地域 課題研究 卒業研究	専	教授	朝地 和博 (72) (令和3年4月) 博士 (文学) 民俗と歴史 山形の歴史・文化 地域共生論 くらいでは、 はいでは、 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと		専	教授	菊地 和博 (73) <令和3年4月> 博士(文学) 民俗と歴史 山形の歴史・文化 地域共生論 くらしと地域 課題研究 卒業研究 <mark>山形のことばとくらし</mark>	専	教授	菊地 和博 (74) <令和3年4月> 博士(文学) 民俗と歴史・文化 地域共生論 くらしま ・文化 ・文化 ・変異 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼 兼	任 · :担 · :任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		橋本 美香 (60) <令和4年4月> 博士(看護学)			橋本 美香 (60) <令和4年4月> 博士(看護学)			橋本 美香 (61) <令和4年4月> 博士(看護学)				橋本 美香 (62) <令和4年4月> 博士(看護学)			橋本 美香 (63) <令和4年4月> 博士(看護学)
専	教授	人間関係() (福祉 人) (日間関係() (福祉 人) (日間関係() (福祉) (日間関係) (日間関係() (日間関係) (日間関係) (日間関係) (日間関係) (日間) (専	教授	人人人(ンソソソソソリリリリス) 人人人(ンソソソソソリリリリリック 開閉関係 「国間関連 「リーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	専	教授	人人人とソソソソソソソソソソ 課本人と障ソ当間間関ミシシシンのでは、		専	教授	人人人 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	専	教授	人人人(ンソソソソリソエソエソス 開間間間福 ハーーーー※一※一※一 「エニークククターン・ 「は、カーーーーーンでは、 「は、カーーーーーンでは、 「は、カーーーーーンでは、 「は、カーーーーーンでは、 「は、カーーーーーンでは、 「は、カーーーーーーンでは、 「は、カー・ では、 「は、カー・ では、 「は、、 では、 「は、 では、 、では、 「は、 では、 、では、 、では、 、では、 、では、 、では、 、では、 、では、 、では、 、では、 、では、
専	教授	松田 浩平 (64) < 令和3年4月 > 修 「	専	教授	人(教心心心人知キ対心心心社心課卒	専	教授	松(65) < (65) < (65) < (65) < (65) < (7) 「日本 (65) ((7) 「日本 (専	教授	松田(66) <令の3年4月> (66) <令修 「 の	専	教授	本(67) (67) (77) (77) (77) (77) (77) (77)
専	教授	阿部いそみ (57) <令和3年4月> 文学修士 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II くらしと哲学 フランス語 I フランス語 I ヨーロッパ事情 海外語学研修A(英語)	専	教授	阿部いそみ (57) <令和3年4月> 文学修士 基礎ゼミⅡ くうシンス語単 マラシス語・ フラーロッパ事情 海外語学研修A(英語)	専	教授	阿部いそみ (58) <令和3年4月> 文学修士 基礎ゼミI 基礎ゼミヨウ と哲学 フランス語I フラーロット ヨー外語学研修A(英語)		専	教授	阿部いそみ (59) <令和3年4月> 文学修士 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II くらしと哲学 フランス語 I フラロッパ事情 海外語学研修A(英語) 課題研究	専	教授	阿部いそみ (60) <令和3年4月> 文学修士 基礎ゼミI 基礎ゼミ I スランス語 I フランス語 I フランス語 I ヨーロッチ
専	教授	大野 寛 (54) <平成29年4月> 博士 (理学) 人間と宇宙を考える コンピュータ基礎演習 情報処理演習 I 情報処理演習 I	専	教授	大野 寛 (54) <平成29年4月> 博士 (理学) 人間と宇宙を考える コンピュータ基礎演習 情報処理演習 I 情報処理演習 II	専	教授	大野 寛 (55) <平成29年4月> 博士 (理学) 人間と宇宙を考える コンピュータ基礎演習 情報処理演習 I 情報処理演習 I		専		大野 寛 (56) 〈平成29年4月〉 博士 (理学) 人間と宇宙を考える コンピュータ基礎演習 情報処理演習 I 情報処理演習 I	専	教授	大野 寛 (57) <平成29年4月> 博士 (理学) 人間と宇宙を考える コンピュータ基礎演習 情報処理演習 I 情報処理演習 I
専	教授	山川 敏久 (70) <令和3年4月> 社会学修士(社会福祉学) 保健医療と福祉 社会福祉概論 I	専	教授	山川 敏久 (70) <令和3年4月> 社会学修士(社会福祉学) 保健医療と福祉 社会福祉概論 I	専	教授	山川 敏久 (71) <令和3年4月> 社会学修士(社会福祉学) 保健医療と福祉 社会福祉概論 I ソーシャルワークの基盤と専門 職 I ソーシャルワークの理論と方法 I※		専	教授	山川 敏久 (72) <令和3年4月> 社会学修士(社会福祉学) 保健医療と福祉 社会福祉概論 I ソーシャルワークの基盤と専 門職 I ソーシャルワークの理論と方 法 I ※	専	教授	山川 敏久 (73) <令和3年4月> 社会学修士(社会福祉学) 保健医療と福祉 社会福祉概論 I ソーシャルワークの基盤と 専門職 I ソーシャルワークの理論と 方法 II ※
専	准授	澤(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48) <(48	専	准授	海人人人(ン対談 I 談談習韓キ韓韓実課卒 (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48)	専	准授	澤(49) (49) (49) (49) (49) (49) (49) (49)		専	准教 授	澤(50) < (50) < (50) < (50) < (50) < (50) < (50) < (50) < (50) < (50) < (50) < (50) < (50) < (50) < (50) < (50) < (50) < (50) < (50) ※	専	准授	(51) (51) (51) (51) (51) (7) (51) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7

専任・		氏 名	専任	-	氏 名	専任・		L 2	任・		氏 名	専任 ·		氏 名
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担 兼任 の別	・ 職名	(年 齢) <就任 (予定) 年日>	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	₹担・ ₹任)別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准授	永盛 (40) (准授	(40) (40) (40) (40) (40) (40) (40) (40)	専	准授	永盛 (41) (専	准教 授	永盛 善博 (42) < (42) < (42) < (42) < (42) < (43) 年 (44)	専		永(43) (44) (44
専	准 授 教授	南條 (43) (44) (43) (43) (43) (43) (43) (43) (43) (43) (43) (44) (43) (44) (43) (44) (43) (44) (44) (44) (44) (44) (45) (44) (専	准授	南(43) (43) (43) (43) (43) (43) (43) (43)									
専	准教 授	依田 平 (46) <令和3年4月> 修士(学術) 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ 情報検索 情報処理演習Ⅲ 情報機器演習 図書館情報機器調習 図書が計算係 情報サービス演習B	- 專	准教 授	依田 平 (46) <令和3年4月> 修士(学術) 基礎ゼミⅡ 基礎で倫大選 情報を受ける。 「報子を表現である。 「報子を表現である。 「報子を表現である。 「報子を表現である。 「報子を表現である。 「報子を表現である。」 「報子を表現できます。」 「我子を表現できます。」 「我子を表現できます。」 「我子を表現できます。」 「我子を表現できます。」 「我子を表現できます。」 「我子を表現できます。 「我子を表する。 「我子を表現できます。 「我子を表現できます。 「我子を表する。 「我子をまる。 「我子を表する。 「我子をまる。 「我子を表す。 「我子を表する。 「我子を表する。 「我子をまる。 「我子を表する。 「我子を表する。 「我子を 「我子を 「我子を 「我子を 「我子を 「我子を 「我子を 「我子を	専	准教 授	依田 平 (47) <令和3年4月> 修士(学術) 基礎ゼミⅡ 基礎で倫理 情報を無調習Ⅱ 情報を表情報を表 情報を表 情報を表 情報を表 情報を表 情報を表 情報を表	専	准教 授	依田 平 (48) <令和3年4月> 修士(学術) 基礎ゼミⅡ 情報機理 情報処理演習Ⅱ 情報機器演習 図書すると 「情報機器演習 図書がある。 「表記を 「表記を 「表記を 「表記を 「表記を 「表記を 「表記を 「表記を	専	准教 授	依田 平 (49) <令和3年4月> 修士(学術) 基礎ゼミⅡ 基礎でも 基礎でも 基礎でも は で を を を を を を を を を を は は は は は は は は
専	准教授	下村 美保 (45) <令和3年4月> 修士 (社会福祉学) 地域福祉部 I リカの理論と方法 I ※ 地域福祉セルル	専	准授	下付 (45) (45) (45) (45) (45) (45) (45) (45)	一	准授	下(46) (46) (46) (46) (46) (46) (46) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	専	准教授	下付(47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47)	専	准 授	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	3	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 名 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		津坂 貢政 (43) <令和3年4月>			津坂 貢政 (43) <令和3年4月>			津坂 貢政 (44) <令和3年4月>				津坂 貢政 (45) <令和3年4月>			津坂 貢政 (46) <令和3年4月>
專	講師	博士 (文学) 基礎でする 「東京学学) 「東京学学) 「東京学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学		講師	基基中中中海文中ス中中実国キプ課本	專	講師	博士(文学) 基礎ではまります。 本様ではまります。 基礎ではまります。 中国語語は、中国語のでは、一方では、中国語のでは、中国語のでは、中国語のでは、中国語のでは、中国語のでは、中国のは、中国のでは、中国のでは、中国のでは、中国のでは、中国のでは、中国のでは、中国のでは、中国のでは、中国のでは、中国のでは、中国のでは、中国のでは、中国のでは、中国のは、中国のでは、中国のでは、中国のでは、中国のでは、中国のは、中国のは、中国のは、中国のは、中国のは、中国のは、中国のは、中国の		専	講師	博士(文学) 基礎ではまり 基礎ではまり を受しまする。 を受しまする。 を受しまする。 を受ける。 はではまります。 を受ける。 ではまります。 ではまります。 では、までは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	専	書書	博士(文学) 基礎ゼミ I 基礎ゼミ I 中国語 I 中国語 I 中国事情 海外語学研修 C (中国語) 文字表現論
		佐藤 亜実 (32) <令和3年4月> 博士(文学)			佐藤 亜実 (32) <令和3年4月> 博士(文学)			佐藤 亜実 (33) <令和3年4月> 博士(文学)	-			佐藤 亜実 (34) <令和3年4月> 博士(文学)			佐藤 亜実 (35) <令和3年4月> 博士(文学)
専	講師	基礎ゼミⅡ 日本語のしばとくらし 日本語のことばとくらし 日本語言語 間 地域言語語 コニケーション演 習 マルジェクト プロジェクト プロ研究	専	講師	基礎でである。 I I くができません。 は I I くができません。 は I I くができません。 は I I では、 は I では I では、 は I では I	専	講師	基礎ゼミ I 基礎ゼミ I 日本語のしくみ 山形のことばとくらし 日本語学 I 日本語学 I 地域言語コミュニケーション演 習 マルチ言語プロジェクト プロジェクト プロジェクト プロ I 課題研究		専	講師	基礎ゼミ I 基礎ゼミ I 日本語のしくみ 山形のことばとくらし 日本語学 I 日本語語語 地域言語 地域言語 コニケーション 演習 マルジェクト プロジェクト プロジェクト プロジェクト プロジェクト プロジェクト プロジェクト 課題研究	専	講	基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 日本語のしくみ 山形のことばとくらし
專	講師	高梨 友也 (50) 令和3年4月〉 (50) 名和3年4月〉 (50) 名称社会福祉 (50) 名称	専	講師	高(50) (50) (50) (50) (50) (50) (50) (50)	専	講師	高型 友也 (51) を令社 (51) を令礼 (51) を令礼 (51) を令礼 (51) を令礼 (51) を令礼 (51) を令礼 (51) を言語を言語を言語を言語を言語を言語を言語を言語を言語を言語を言語を言語を言語を		専	講師	高(52) <(52) <(52) <(52) <(52) <(54) <(52) <(54) <(52) <(54) <(52) <(54) <(52) <(54) <(52) <(54) <(52) <(54) <(52) <(54) <(54) <(55) <(54) <(52) <(54) <(52) <(54) <(52) <(54) <(52) <(54) <(52) <(54) <(52) <(54) <(52) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54) <(54	専	書書	(53) 44社 (53) 4月社 (
										兼担	教授	須賀一好 (72) <令和5年4月> 文学修士 日本語のしくみ 日本語学 I 日本語学 I			
兼担		鈴木 隆 (72) <令和3年4月> 理学博士 環境と生物を考える 生物学の探究	兼担	教授	鈴木 隆 (72) <令和3年4月> 理学博士 環境と生物を考える 生物学の探究	兼担	教授	鈴木 隆 (73) <令和3年4月> 理学博士 環境と生物を考える 生物学の探究		兼担	教授	鈴木 隆 (74) <令和3年4月> 理学博士 環境と生物を考える 生物学の探究	兼排	旦 教:	鈴木 隆 (75) <令和3年4月> 理学博士 環境と生物を考える 生物学の探究
兼担	教授	山口 常夫 (71) <令和3年4月> 教育学修士 英語 I 英語 I	兼担	教授	山口 常夫 (71) <令和3年4月> 教育学修士 英語 I 英語 I	兼担	教授	山口 常夫 (72) <令和3年4月> 教育学修士 英語 I 英語 I		兼担	教授	山口 常夫 (73) <令和3年4月> 教育学修士 英語 I 英語 I	兼‡	型 教:	山口 常夫 (74) <令和3年4月> 教育学修士 英語 I 英語 I
兼担		柳谷 豊彦 (68) <令和3年4月> 学士(文学士) 社会科学基礎(言語・国語)	兼担	教授	柳谷 豊彦 (68) <令和3年4月> 学士(文学士) 社会科学基礎(言語・国 語)	兼担	教授	柳谷 豊彦 (69) <令和3年4月> 学士(文学士) 社会科学基礎(言語・国語)		兼担	教授	柳谷 豊彦 (70) <令和3年4月> 学士(文学士) 社会科学基礎(言語・国語)	兼‡	型 教:	柳谷 豊彦 (71) <令和3年4月> 学士(文学士) 社会科学基礎(言語・国 語)
		福田 真一 (49) <令和3年4月> 文学修士			福田 真一 (49) <令和3年4月> 文学修士			福田 真一 (50) <令和3年4月> 文学修士				福田 真一 (51) <令和3年4月> 文学修士			福田 真一 (52) <令和3年4月> 文学修士
兼担		心理学概論 A 心理学研究法※ 心理学基礎実験※ 心理学実験 A ※ 心理学実験 B ※	兼担	准教 授	心理学概論 A 心理学研究法※ 心理学基礎実験※ 心理学実験 A ※ 心理学実験 B ※	兼担	准教 授	心理学概論 A 心理学研究法※ 心理学基礎実験※ 心理学実験 A ※ 心理学実験 B ※		兼担	准教 授	心理学概論 A 心理学研究法※ 心理学基礎実験※ 心理学実験 A ※ 心理学実験 B ※	兼‡	<u>推</u>	

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	准教 授	眞壁 豊 (46) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼担	准教 授	眞壁 豊 (46) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼担	准教 授	眞壁 豊 (47) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼担	 准教 授	眞壁 豊 (48) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼担	准教 授	眞壁 豊 (49) <令和4年4月> 修士(教育学)
		ネットワーク応用演習 佐藤 政士			ネットワーク応用演習 佐藤 政士			ネットワーク応用演習 佐藤 政士			ネットワーク応用演習 佐藤 政士			ネットワーク応用演習 佐藤 政士
兼担	講師	(65) <令和3年4月>	兼担	講師	(65) <令和3年4月>	兼担	講師	(66) <令和3年4月>	兼担	講師	(67) <令和3年4月>	兼担	講師	(68) <令和3年4月>
		教育学士 自然科学基礎(数学)			教育学士 自然科学基礎(数学)			教育学士 自然科学基礎(数学)			教育学士 自然科学基礎(数学)			教育学士 自然科学基礎(数学)
		三道 なぎさ (37)			三道 なぎさ (37)			三道 なぎさ (38)			三道 なぎさ (39)			
兼担	講師	<令和5年4月> 博士(教育学) 臨床心理学演習	兼担	講師	<令和5年4月> 博士(教育学) 	兼担	講師	<令和5年4月> 博士(教育学) 臨床心理学演習			<令和5年4月> 博士(教育学) 臨床心理学演習			
		心理検査法実習※			心理検査法実習※			心理検査法実習※			心理検査法実習※			岡村 恵里子
												兼担	講師	(36) <令和6年4月> 博士(障害科学)
														心理検査法実習
		佐藤 晃 (61) <令和3年4月> 文学修士			佐藤 晃 (61) <令和3年4月> 文学修士			佐藤 晃 (62) <令和3年4月> 文学修士			佐藤 晃 (63) <令和3年4月> 文学修士			佐藤 晃 (64) <令和3年4月> 文学修士
兼任	講師	山形のことばとくらし 山形の信仰と伝承 企業研究	兼任	講師	山形のことばとくらし 山形の信仰と伝承 企業研究	兼任	講師	山形のことばとくらし 山形の信仰と伝承 企業研究	兼任	講師	山形のことばとくらし 山形の信仰と伝承 企業研究	兼任		山形のことばとくらし 山形の信仰と伝承 企業研究
		正条研究 インターンシップ 異文化間コラボレーション			正条研究 インターンシップ 異文化間コラボレーション			正来研究 インターンシップ 異文化間コラボレーション			正条研究 インターンシップ 異文化間コラボレーション			正条研究 インターンシップ 異文化間コラボレーション
		佐久間美智雄 (61)			佐久間美智雄 (61)			佐久間美智雄 (62)			佐久間美智雄 (63)			佐久間美智雄 (64)
		<令和3年4月> 社会福祉学修士			<令和3年4月> 社会福祉学修士			<令和3年4月> 社会福祉学修士			<令和3年4月> 社会福祉学修士			<令和3年4月> 社会福祉学修士
兼任	講師	児童福祉論 ソーシャルワークの基盤と専門職	兼任	講師	児童福祉論 ソーシャルワークの基盤と専	兼任	講師	児童福祉論 ソーシャルワークの基盤と専門職	兼任	講師	児童福祉論 ソーシャルワークの基盤と専門	兼任	講師	児童福祉論 フーシャルワークの基盤と専
		Ⅱ 社会保障論Ⅱ 社会保障論Ⅱ			門職 Ⅱ 社会保障論 I 社会保障論 Ⅱ			Ⅱ 社会保障論 I 社会保障論 Ⅱ			職Ⅱ 社会保障論Ⅱ 社会保障論Ⅱ			門職Ⅱ 社会保障論Ⅱ 社会保障論Ⅱ
		 熊谷 義隆 (66)			熊谷 義隆 (66)			熊谷 義隆 (67)			熊谷 義隆 (68)			熊谷 義隆 (69)
兼任	講師	<令和3年4月> 文学修士	兼任	講師	<令和3年4月> 文学修士	兼任	講師	<令和3年4月> 文学修士	兼任	講師	<令和3年4月> 文学修士	兼任	講師	<令和3年4月> 文学修士
		文章表現の技術 くらしと文学			文章表現の技術 くらしと文学			文章表現の技術 くらしと文学			文章表現の技術 くらしと文学			文章表現の技術 くらしと文学
		伊藤 弘昭 (58)			伊藤 弘昭 (58)			伊藤 弘昭 (59)			伊藤 弘昭 (60)			伊藤 弘昭 (61)
		<令和3年4月> 学芸学士			<令和3年4月> 学芸学士			<令和3年4月> 学芸学士			<令和3年4月> 学芸学士			<令和3年4月> 学芸学士
		図書館概論 図書館制度・経営論 図書館サービス概論			図書館概論 図書館制度・経営論 図書館サービス概論			図書館概論 図書館制度・経営論 図書館サービス概論			図書館概論 図書館制度・経営論 図書館サービス概論			図書館概論 図書館制度・経営論 図書館サービス概論
兼任	講師	情報サービス論 児童サービス論 情報サービス演習 A	兼任	講師	情報サービス論 児童サービス論 情報サービス演習 A	兼任	講師	情報サービス論 児童サービス論 情報サービス演習 A	兼任 兼 担	講師 准教	情報サービス論 児童サービス論 情報サービス演習 A	兼任 兼担		情報サービス論 児童サービス論 情報サービス演習 A
		図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習 A			図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習 A			図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習 A			図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習 A			図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習 A
		情報資源組織演習 B 図書館基礎特論			情報資源組織演習 B 図書館基礎特論			情報資源組織演習B 図書館基礎特論			情報資源組織演習B 図書館基礎特論			情報資源組織演習B 図書館基礎特論
		図書館サービス特論 図書館情報資源特論 図書・図書館史			図書館サービス特論 図書館情報資源特論 図書・図書館史			図書館サービス特論 図書館情報資源特論 図書・図書館史			図書館サービス特論 図書館情報資源特論 図書・図書館史			図書館サービス特論 図書館情報資源特論 図書・図書館史
		サイモン・リーヴス (56)			サイモン・リーヴス (56)			サイモン・リーヴス (57)			サイモン・リーヴス (58)			サイモン・リーヴス (59)
兼任	講師	<令和3年4月> BA PGCE (英国)	兼任	講師	<令和3年4月> BA PGCE (英国)	兼任	講師	<令和3年4月> BA PGCE (英国)	兼任 兼 担		<令和3年4月> BA PGCE (英国)	兼任 兼担	講師 准教 授	<令和3年4月> BA PGCE (英国)
		英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション Ⅱ			英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II			英語コミュニケーション I 英語コミュニケーションⅡ			英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II			英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション Ⅱ
		齋藤由美子 (69) <令和3年4月>			齋藤由美子 (69) <令和3年4月>			齋藤由美子 (70) <令和3年4月>			齋藤由美子 (71) <令和3年4月>			齋藤由美子 (71) <令和3年4月>
兼任	講師	教育学修士 インターンシップ 地域と多文化	兼任	講師	教育学修士 インターンシップ 地域と多文化	兼任	講師	教育学修士 インターンシップ 地域と多文化	兼任	講師	教育学修士 インターンシップ 地域と多文化	兼任	講師	教育学修士 地域と多文化
		 齋藤 美穂			 齋藤 美穂			 齋藤 美穂			齋藤 美穂			齋藤 美穂
		(47) <令和4年4月> 教育学学士			(47) <令和4年4月> 教育学学士			(48) <令和4年4月> 教育学学士			(49) <令和4年4月> 教育学学士			(50) <令和4年4月> 教育学学士
兼任	講師	ソーシャルワーク実習指導 I ※	兼任	講師	ソーシャルワーク実習指導 I ※	兼任	講師	ソーシャルワーク実習指導 I ※	兼任	講師	ソーシャルワーク実習指導 I ※	兼任	講師	ソーシャルワーク実習指導 I ※
		ソーシャルワーク実習指導 I ※ ソーシャルワーク実習指導 II ※ ソーシャルワーク実習 I ※			ソーシャルワーク実習指導 II ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ			ソーシャルワーク実習指導Ⅱ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ※ ソーシャルワーク実習Ⅰ※			ソーシャルワーク実習指導Ⅱ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ※ ソーシャルワーク実習 I ※			ソーシャルワーク実習指導 II
		ソーシャルワーク実習Ⅱ※			※ ソーシャルワーク実習 I ※ ソーシャルワーク実習 II ※			ソーシャルワーク実習 II ※			ソーシャルワーク実習Ⅱ※			※ ソーシャルワーク実習 I ※ ソーシャルワーク実習 II ※
		平田 俊博			平田 俊博 (74)			平田 俊博 (75)			平田 俊博 (76)			平田 俊博
兼任	講師	<令和3年4月> 博士(文学)	兼任	講師	<令和3年4月> 博士(文学)	兼任	講師	<令和3年4月> 博士(文学)	兼任	講師	<令和3年4月> 博士(文学)	兼任	講師	<令和3年4月> 博士(文学)
		くらしと倫理学 高木 紘一			くらしと倫理学 高木 紘一			くらしと倫理学 高木 紘一	<u> </u>		くらしと倫理学 高木 紘一			くらしと倫理学 高木 紘一
兼任	講師	(68) <令和3年4月> 法学博士	兼任	講師	(68) <令和3年4月> 法学博士	兼任	講師	(69) <令和3年4月> 法学博士	兼任	講師	(70) <令和3年4月> 法学博士	兼任	講師	(80) <令和3年4月> 法学博士
		くらしと憲法			くらしと憲法			くらしと憲法			くらしと憲法			くらしと憲法
兼任	講師	國方 敬司 (70) <令和3年4月>	兼任	講師	國方 敬司 (70) <令和3年4月>	兼任	講師	國方 敬司 (71) <令和3年4月>	兼任	講師	國方 敬司 (72) <令和3年4月>	並 た	講師	國方 敬司 (73) <令和3年4月>
水江	마바다	博士(経済学)	水江	마바다	博士 (経済学)	水性	四年前	博士 (経済学)	1 米日	神師	博士 (経済学)	水性	마무미	博士(経済学)
						<u> </u>	<u> </u>					<u> </u>	1	. 5 5 4401

専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任 兼担			氏 名		享任・ 乗担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名
兼任の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任の別		名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼	東任 D別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		滝口克典 (47)			滝口克典 (47)				滝口克典 (48)				滝口克典 (49)			滝口克典 (50)
兼任	講師	<令和3年4月> 修士(歴史学)	兼任	講師	<令和3年4月> 修士(歴史学)	兼		師	<令和3年4月> 修士(歴史学)	3	兼任	講師	<令和3年4月> 修士(歴史学)	兼任	講師	<令和3年4月> 修士(歴史学)
		修士(公益学) 	7		修士(公益学)				修士(公益学)				修士(公益学) 			修士(公益学) 社会学と社会システム
		社会学と社会システム			社会学と社会システム	\perp			社会学と社会システム				社会学と社会システム			生涯学習概論
兼任	講師	原 慶明 (76) <令和3年3月>	兼任	講師	原 慶明 (76) <令和3年3月>	兼	/ 	師	原 慶明 (77) <令和3年3月>		兼任	講師	原 慶明 (78) <令和3年4月>			
兼性	神印	理学博士環境と生物を考える	兼任	神训	理学博士環境と生物を考える	派	士 神		理学博士環境と生物を考える	7	米江		理学博士環境と生物を考える			
		山崎裕			山崎裕	\vdash			山崎裕				山崎裕			山﨑 裕
兼任	講師	(64) <令和3年4月> 博士(農学)	兼任	講師	(64) <令和3年4月> 博士(農学)	兼	壬 講	師	(65) <令和3年4月> 博士(農学)	3	兼任	講師	(66) <令和3年4月> 博士(農学)	兼任	講師	(67) <令和3年4月> 博士(農学)
		環境と生物を考える			環境と生物を考える			ŀ	環境と生物を考える				環境と生物を考える			環境と生物を考える
		高橋 和也 (34)			高橋 和也 (34)				高橋 和也 (35)				高橋 和也 (36)			
兼任	講師	<令和3年4月> 博士(理学)	兼任	講師	<令和3年4月> 博士(理学)	兼	壬 講	師	<令和3年4月> 博士(理学)	3	兼任	講師	<令和3年4月> 博士(理学)			
		環境と生物を考える			環境と生物を考える				環境と生物を考える				環境と生物を考える			4#.I. +E
* /T	=# 6 T	横山 哲 (49) <令和3年4月>	* /r	=# 6 T	横山 哲 (49) <令和3年4月>	*	·	ÓΞ	横山 哲 (50) <令和3年4月>		* /r	=# AT	横山 哲 (51) <令和3年4月>	* <i>I</i>	=# 6 T	横山 哲 (52) <令和3年4月>
兼任	講師	修士(生物学) 環境と生物を考える	兼任		修士(生物学) 環境と生物を考える	兼	任 講		修士(生物学) 環境と生物を考える	7	兼任		修士(生物学) 環境と生物を考える	兼任	講師	修士 (生物学) 環境と生物を考える
		横山 潤			横山 潤				横山 潤				横山 潤			横山 潤
兼任	講師	(52) <令和3年4月> 博士(理学)	兼任	講師	(52) <令和3年4月> 博士(理学)	兼·	壬 講	師	(53) <令和3年4月> 博士(理学)	3	兼任	講師	(54) <令和3年4月> 博士(理学)	兼任	講師	(55) <令和3年4月> 博士(理学)
		環境と生物を考える			環境と生物を考える				環境と生物を考える				環境と生物を考える			環境と生物を考える
		小田 良子 (71)			小田 良子 (71)				小田 良子 (72)				小田 良子 (73)			小田 良子 (74)
兼任	講師	<令和3年4月> 学士(文学)	兼任	講師	<令和3年4月> 学士(文学)	兼	 任 □ 講	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<令和3年4月> 学士(文学)	3	兼任	講師	<令和3年4月> 学士(文学)	兼任	講師	<令和3年4月> 学士(文学)
N II	DI-3 Dily	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	XII	DI-3 Hill	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーションⅡ	1	_ B++		英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション Ⅱ		N IT		英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	NIT	D1-3 1-11	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション Ⅱ
		英語エクスプレッション実践			英語エクスプレッション実 践				英語エクスプレッション実践				英語エクスプレッション実践			英語エクスプレッション実践
		權 純縣 (62)			權 純縣 (62)				權 純縣 (63)				權 純縣 (64)			權 純縣 (65)
兼任	講師	<令和3年4月> 学士(日本文学)	兼任	講師	<令和3年4月> 学士(日本文学)	兼	子 i 講	師・	<令和3年4月> 学士(日本文学)	3	兼任	講師	<令和3年4月> 学士(日本文学)	兼任	講師	<令和3年4月> 学士(日本文学)
		韓国語 I 韓国語 I	711.12	HIZE	韓国語 I 韓国語 II				韓国語 I 韓国語 II		ZII (I		韓国語 I 韓国語 II	211412	HIVE	韓国語 I 韓国語 II
		韓国事情			韓国事情				韓国事情				韓国事情			韓国事情
		沼澤 靖浩 (67) <令和3年4月>			沼澤 靖浩 (67) <令和3年4月>				沼澤 靖浩 (68) <令和3年4月>				沼澤 靖浩 (69) <令和3年4月>			沼澤 靖浩 (70) <令和3年4月>
兼任	講師	修士(体育科学)	兼任	講師	修士(体育科学)	兼	任 講	師	修士(体育科学)	3	兼任	講師	修士(体育科学)	兼任	講師	修士(体育科学)
		スポーツサイエンス I スポーツサイエンス II			スポーツサイエンス I スポーツサイエンス II				スポーツサイエンス I スポーツサイエンス II				スポーツサイエンス I スポーツサイエンス II			スポーツサイエンス I スポーツサイエンス II
		安藤 耕己 (48)			安藤 耕己 (48)				安藤 耕己 (49)				安藤 耕己 (50)			
兼任	講師	<令和4年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	<令和4年4月> 博士(教育学)	兼	任 講	師	<令和4年4月> 博士(教育学)	3	兼任	講師	<令和4年4月> 博士(教育学)			
		生涯学習概論 北川 忠明			生涯学習概論 北川 忠明	\perp			生涯学習概論 北川 忠明	-			生涯学習概論 北川 忠明			北川 忠明
		(67) <令和3年4月>			(67) <令和3年4月>				(68) <令和3年4月>				(69) <令和3年4月>			(70) <令和3年4月>
兼任		博士 (法学) 山形の政治と行政	兼任	講師	博士(法学) 山形の政治と行政	兼	任 講	師	博士(法学) 山形の政治と行政	7	兼任	講師	博士 (法学) 山形の政治と行政	兼任	講師	博士(法学) 山形の政治と行政
		地域政策論			地域政策論				地域政策論				地域政策論			地域政策論
	=++ 4	下平 裕之 (54) <令和3年4月>	** **	=++	下平 裕之 (54) <令和3年4月>			4-	下平 裕之 (55) <令和3年4月>		* -	=# 4	下平 裕之 (56) <令和3年4月>	** '-	-# 4	下平 裕之 (57) <令和3年4月>
兼任	講師	修士 (経済学) 山形の産業と経済	兼任	講師	修士(経済学)	兼	士 講	師	修士(経済学)	7	兼任	講師	修士(経済学)	兼任	講師	修士(経済学)
		伊藤 豊			山形の産業と経済 伊藤 豊	\vdash			山形の産業と経済 伊藤 豊				山形の産業と経済 伊藤 . 豊			山形の産業と経済 伊藤 豊
兼任	講師	(53) <令和3年4月> Ph.D. (American History,	兼任	講師	(53) <令和3年4月> Ph.D. (American History,	兼·	壬 講	師	(53) <令和3年4月> Ph.D. (American History.	3	兼任	講師	(54) <令和3年4月> Ph.D. (American History,	兼任	講師	(55) <令和3年4月> Ph.D. (American History,
		Cultural) (米国) アメリカ事情			Cultural)(米国) アメリカ事情				Cultural)(米国) アメリカ事情				Cultural)(米国) アメリカ事情			Cultural)(米国) アメリカ事情
		奥山留美子			奥山留美子				奥山留美子				奥山留美子			奥山留美子
兼任	講師	(62) <令和3年4月> 学士(家政学)	兼任	講師	(62) <令和3年4月> 学士 (家政学)	兼·	壬 講	師	(62) <令和3年4月> 学士(家政学)	3	兼任	講師	(64) <令和3年4月> 学士(家政学)	兼任	講師	(64) <令和3年4月> 学士(家政学)
		ボランティア論			ボランティア論				ボランティア論				ボランティア論			ボランティア論
		今泉 岳雄 (72)			今泉 岳雄 (72)				今泉 岳雄 (73)				今泉 岳雄 (74)			今泉 岳雄 (75)
兼任	講師	<令和3年4月> 文学士(心理学)	兼任	講師	<令和3年4月> 文学士(心理学)	兼	任 講	師	<令和3年4月> 文学士(心理学)	3	兼任	講師	<令和3年4月> 文学士(心理学)	兼任	講師	<令和3年4月> 文学士(心理学)
		障害者・障害児心理学 平泉 拓			障害者・障害児心理学 平泉 拓	\vdash			障害者・障害児心理学 平泉 拓				障害者・障害児心理学 平泉 拓			障害者・障害児心理学 平泉 拓
兼任	講師	(36) <令和5年4月>	兼任	講師	(36) <令和5年4月>	兼		師	(37) <令和5年4月>	3	兼任	講師	(38) <令和5年4月>	兼任	講師	(39) <令和5年4月>
		博士(教育学) 福祉心理学			博士(教育学) 福祉心理学				博士(教育学) 福祉心理学				博士(教育学) 福祉心理学			博士(教育学) 福祉心理学
		阿部 晃士 (52)			阿部 晃士 (52)				阿部 晃士 (53)				阿部 晃士 (54)			阿部 晃士 (55)
兼任	講師	<令和4年4月> 修士(文学)	兼任	講師	<令和4年4月> 修士(文学)	兼	任 講	師	<令和4年4月> 修士(文学)	3	兼任	講師	<令和4年4月> 修士(文学)	兼任	講師	<令和4年4月> 修士(文学)
		社会福祉調査の基礎			社会福祉調査の基礎				社会福祉調査の基礎				社会福祉調査の基礎			社会福祉調査の基礎
<u> 46 1</u>	=# <i>+</i>	沼山 博 (54) <令和3年4月>		=# <i>+</i>	沼山 博 (54) <令和3年4月>	. مد	,	, 6 -	沼山 博 (55) <令和3年4月>		* /-	≘ ₩ ᢆ┹~	沼山 博 (56) <令和3年4月>			
兼任	講師	修士(教育学)	兼任	講師	修士(教育学)	兼	± 講 	師	修士(教育学)		兼任	講師	修士(教育学)			
-		関係構築の心理※ 佐藤 恵美			関係構築の心理※ 佐藤 恵美	\vdash	+		関係構築の心理※ 佐藤 恵美	-			関係構築の心理※ 佐藤 恵美			佐藤 恵美
兼任	講師	(43) <令和5年4月>	兼任	講師	(43) <令和5年4月>	兼	 任 講	師	(44) <令和5年4月>	3	兼任	講師	(45) <令和5年4月>	兼任	講師	(46) <令和5年4月>
		博士(心理学) 産業・組織心理学			博士(心理学) 産業・組織心理学				博士(心理学) 産業・組織心理学				博士(心理学) 産業・組織心理学			博士(心理学) 産業・組織心理学
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			[-	· L					1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

専任・		氏 名	専任・		氏 名	専任 *		氏 名	専任	•	氏 名	専任・	Τ	氏 名
兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担 兼任 の別	職名	(年 齢) く就任 (予定) 年日>	兼担 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年日>	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		村木 英治 (71)			村木 英治 (71)			村木 英治 (72)			村木 英治 (73)			村木 英治 (74)
兼任	講師	<令和4年4月> Ph.D. (Psychometric) (米国)	兼任	講師	<令和4年4月> Ph.D. (Psychometric) (米国)	兼任	講師	<令和4年4月> Ph.D. (Psychometric) (米国)	兼任	E 講自	<令和4年4月> Ph.D. (Psychometric) (米国)	兼任	講師	<令和4年4月> Ph.D. (Psychometric) (米国)
		心理学統計法 学習心理学			心理学統計法 学習心理学			心理学統計法 学習心理学			心理学統計法 学習心理学			心理学統計法 学習心理学
兼任	講師	大村 一史 (47) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	大村 一史 (47) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	大村 一史 (48) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	E 講自	大村 一史 (49) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	大村 一史 (50) <令和5年4月> 博士(医学)
		神経心理学【隔年】 生理心理学【隔年】			神経心理学【隔年】 生理心理学【隔年】			神経心理学【隔年】 生理心理学【隔年】			神経心理学【隔年】 生理心理学【隔年】			神経心理学【隔年】 生理心理学【隔年】
兼任	講師	佐々木大輔 (76) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	佐々木大輔 (76) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	佐々木大輔 (77) <令和5年4月> 医学博士	兼任	E 講自	佐々木大輔 (76) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	佐々木大輔 (77) <令和5年4月> 医学博士
		健康・医療心理学 坂上 洋			健康・医療心理学 坂上 洋	-		健康・医療心理学 坂上 洋			健康・医療心理学 坂上 洋			健康・医療心理学 坂上 洋
兼任	講師	(61) <令和4年4月> 学士(社会教育学)	兼任	講師	7/7 (61) <令和4年4月> 学士(社会教育学)	兼任	講師	(62) <令和4年4月> 学士(社会教育学)	兼任	E 講自	(63) <令和4年4月> 学士(社会教育学)	兼任	講師	(64) <令和4年4月> 学士(社会教育学)
		社会福祉概論 Ⅱ ソーシャルワーク演習 Ⅲ※ ソーシャルワーク演習 Ⅳ※			社会福祉概論 II ソーシャルワーク演習 III ※ ソーシャルワーク演習 IV ※			社会福祉概論Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ※ ソーシャルワーク演習Ⅳ※			社会福祉概論Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ※ ソーシャルワーク演習Ⅳ※			社会福祉概論Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ※ ソーシャルワーク演習Ⅳ※
		柴田 邦昭 (59) <令和4年4月>			柴田 邦昭 (59) <令和4年4月>			柴田 邦昭 (60) <令和4年4月>			柴田 邦昭 (61) <令和4年4月>			柴田 邦昭 (62) <令和4年4月>
兼任	講師	修士 (社会福祉学) 刑事司法と福祉	兼任	講師	修士 (社会福祉学) 刑事司法と福祉	兼任	講師		兼任	E 講自		兼任	講師	修士(社会福祉学)
		公的扶助論			公的扶助論			公的扶助論			公的扶助論			公的扶助論
兼任	講師	宮川 系子 (44) <令和5年4月> 修士(教育学) 心理的アセスメント※	兼任	講師	宮川 系子 (44) <令和5年4月> 修士(教育学) 心理的アセスメント※	兼任	講師	宮川 系子 (45) <令和5年4月> 修士(教育学) 心理的アセスメント※	兼任	E 講自	宮川 系子 (46) <令和5年4月> 修士(教育学) 心理的アセスメント※	兼任	講師	宮川 系子 (47) <令和5年4月> 修士(教育学) 臨床心理学演習 心理的アセスメント※ 心理的アセスメント※(担当
		 高橋 理美			高橋 理美			高橋 理美			高橋 理美	-		回数の追加) 高橋 理美
兼任	講師	(37) <令和5年4月> 修士(臨床心理学) 心理的アセスメント※	兼任	講師	(37) <令和5年4月> 修士(臨床心理学) 心理的アセスメント※	兼任	講師	(38)	兼任	£ 講自	(39)	兼任	講師	(40) <令和5年4月> 修士(臨床心理学) 心理的アセスメント※
		<u> </u>			が理的アセスメント※ 曽川あゆみ (41)			じ 埋的アセスメント※ 曽川あゆみ (42)			りを ・			<u> </u>
兼任	講師	< 令和5年4月 > 修士 (教育学) 心理的アセスメント※	兼任	講師	<令和5年4月> 修士(教育学) 心理的アセスメント※	兼任	講師	7 A 18 F T 1 B N	兼任	E 講自	4 4 4 4	兼任	講師	く令和5年4月> 修士(教育学) 心理的アセスメント※
兼任	講師	吉田 敏明 (65) <令和3年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	吉田 敏明 (65) <令和3年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	吉田 敏明 (66) <令和3年4月> 学士(経済学)	兼任	£ 講自	吉田 敏明 (67) <令和3年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	吉田 敏明 (68) <令和3年4月> 学士(経済学)
		社会科学基礎(社会) 阿部 均			社会科学基礎(社会) 阿部 均	-		社会科学基礎(社会) 阿部 均			社会科学基礎(社会) 阿部 均			社会科学基礎(社会) 阿部 均
兼任	講師	(69) <令和3年4月> 学士(理学) 自然科学基礎(理科)	兼任	講師	(69) <令和3年4月> 学士(理学) 自然科学基礎(理科)	兼任	講師	(70)	兼任	E 講自	(71)	兼任	講師	(72) <令和3年4月> 学士(理学) 自然科学基礎(理科)
		5			手塚 美雄 (68)			手塚 美雄 (69)		+	手塚 美雄 (70)			□ MN 17 全級(生物)
兼任	講師	<	兼任	講師	<令和3年4月> 修士(教育学) 国際言語基礎(英語)	兼任	講師	4 4 7-0 (- 4 17)	兼任	£ 講自	1 4 5 6 6 1 7 1			
兼任		伊勢 博 (63) <令和4年4月> 修士(文学) デジタルアーキビスト概論 地域文化とデジタルアーカイブ	兼任	講師	伊勢 博 (63) <令和4年4月> 修士(文学) デジタルアーキビスト概論 地域文化とデジタルアーカ	兼任	講師	伊勢 博 (64) <令和4年4月> 修士(文学) デジタルアーキビスト概論 地域文化とデジタルアーカイブ	兼任	E 講自	伊勢 博 (65) <令和4年4月> 修士(文学) デジタルアーキビスト概論 地域文化とデジタルアーカイ	兼任	講師	伊勢 博 (66) <令和4年4月> 修士(文学) デジタルアーキビスト概論 地域文化とデジタルアーカ
兼任	講師	新地 惇 (75) <令和4年4月 > 博士 (医学) 医学概論	兼任	講師	イブ 菊地 惇 (75) <令和4年4月> 博士 (医学) 医学概論						7			イブ
		으 구·Walff			上 T 1W AHI	兼任	講師	井上 京子 (65) <令和4年4月> 看護学修士 医学概論	兼任	E 講自	井上 京子 (66) <令和4年6月> 看護学修士 医学概論	兼任	講師	井上 京子 (67) <令和4年6月> 看護学修士 医学概論
兼任	講師	粟野 和之 (65) <令和5年4月> 法務博士(専門職) 権利擁護と成年後見制度	兼任		粟野 和之 (65) <令和5年4月> 法務博士(専門職) 権利擁護と成年後見制度	兼任	講師	粟野 和之 (66) <令和5年4月>	兼任	E 講自	栗野 和之 (67) <令和5年4月>	兼任	講師	要野 和之 (68) <令和5年4月> 法務博士(専門職) 権利擁護と成年後見制度 刑事司法と福祉

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	萧	専任・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
							兼任	講師	坂喜 美佳 (36) <令和4年4月> 博士 (文学) 地域言語演習	兼任		坂喜 美佳 (37) <令和4年4月> 博士 (文学) 地域言語演習 地域言語コミュニケーション演習			
													兼	壬 講師	花屋 道子 (54) <令和6年4月> 修士 (文学) 臨床心理学 教育相談 対人認知論【隔年】 関係構築の心理※
													兼	壬 講師	横山 亜紀子 (55) <令和6年4月> 博士 (理学) 環境と生物を考える
													兼	壬 講師	伊藤 朋子 (41) 〈令和6年4月〉 博士(教育学) 心理学概論 B
													兼	壬 講師	奥山 康夫 (67) <令和6年4月> 学士 (文学) 国際言語基礎 (英語)

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 ・専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
 ・不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

【令和3年度】



【令和4年度】 ・一身上の理由により、南條正人准教授退職。担当授業科目を下記のとおり担当変更。 ・「ボランティア活動実践」を、下村美保准教授に変更。(令和4年2月教員審査済) · 「人間関係演習 I 」を、下村美保准教授に変更。(令和4年2月教員審査済) 他の共同担当である、阿部裕美教授、花屋道子教授、橋本美香教授、澤恩嬉准教授、永盛善博准教授と6名で担当する。 ・「人間関係演習Ⅱ」を、下村美保准教授に変更。(令和4年2月教員審査済) 他の共同担当である、阿部裕美教授、花屋道子教授、橋本美香教授、澤恩嬉准教授、永盛善博准教授と6名で担当する。 ・「人間関係プロジェクトC (心理と福祉)」を、橋本美香教授に変更。(令和4年2月教員審査済) 他の共同担当である、松田浩平教授、永盛善博准教授と3名で担当する。 ・「障がい者福祉論」を、橋本美香教授、髙梨友也講師に変更する。(令和4年2月教員審査済) ・「ソーシャルワークの基盤と専門職I」を、山川敏久教授に変更する。(令和4年2月教員審査済) ・「ソーシャルワークの理論と方法 I 」を、髙梨友也講師に変更する。(令和4年2月教員審査済) 下村美保准教授と2名で担当する。 ・「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」を、山川敏久教授に変更。(令和4年2月教員審査済) 髙梨友也講師と2名で担当する。 ・「ソーシャルワーク演習I」を、下村美保准教授に変更。(令和4年2月教員審査済) 橋本美香教授と2名で担当する。 ・「ソーシャルワーク演習皿」を、髙梨友也講師に変更。(令和4年2月教員審査済) 坂上洋兼任講師と2名で担当する。 ・「ソーシャルワーク演習V」を、橋本美香教授と髙梨友也講師の2名に担当変更。(令和4年2月教員審査済) ・「ソーシャルワーク実習指導 I 」を、他の共同担当である、橋本美香教授、下村美保准教授、髙梨友也講師、齋藤美穂兼任講師の4名で担当する。 (令和4年2月教員審査済) ・「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」を、他の共同担当である、橋本美香教授、下村美保准教授、髙梨友也講師、齋藤美穂兼任講師の4名で担当する。 (令和4年2月教員審査済) ・「ソーシャルワーク実習指導皿」を、他の共同担当である、橋本美香教授、下村美保准教授、髙梨友也講師、齋藤美穂兼任講師の4名で担当する。 (令和4年2月教員審査済) ・「ソーシャルワーク実習I」を、他の共同担当である、橋本美香教授、下村美保准教授、髙梨友也講師、齋藤美穂兼任講師の4名で担当する。 (令和4年2月教員審査済) ・「ソーシャルワーク実習Ⅱ」を、他の共同担当である、橋本美香教授、下村美保准教授、髙梨友也講師、齋藤美穂兼任講師の4名で担当する。 (令和4年2月教員審査済) 「課題研究」の担当を、花屋道子教授、阿部裕美教授、黒沢晶子教授、菊地和博教授、大江篤志教授、松田浩平教授、橋本美香教授、 澤恩嬉准教授、永盛善博准教授、下村美保准教授、佐藤亜実講師、津坂貢政講師、髙梨友也講師の13名に変更する。 ・「卒業研究」の担当を、花屋道子教授、阿部裕美教授、黒沢晶子教授、菊地和博教授、大江篤志教授、松田浩平教授、橋本美香教授、 |澤恩嬉准教授、永盛善博准教授、下村美保准教授、佐藤亜実講師、津坂貢政講師、髙梨友也講師の13名に変更する。 佐藤亜実講師の産休育休取得により、「基礎ゼミI」の担当変更。 ・花屋道子教授、佐藤亜実講師の産休育休取得に伴い「基礎ゼミI」を担当。(令和4年2月教員審査済) 佐藤亜実講師の産休育休取得により、「地域言語演習」の担当を坂喜美佳兼任講師に変更。 ・菊地惇兼任講師就任辞退のため、「医学概論」の担当を井上京子兼任講師に変更。

```
【令和5年度】
・佐藤亜実講師の産休育休取得のため、担当授業科目を下記のとおり担当変更する。
・「基礎ゼミI」の担当を、下村美保准教授に変更。(令和5年2月教員審査済)
・「基礎ゼミⅡ」の担当を、下村美保准教授に変更。(令和5年2月教員審査済)
「日本語のしくみⅡ」の担当を、須賀一好兼担教授に変更。
・「山形のことばとくらし」の担当を、菊地和博教授に変更。共同担当の佐藤晃兼任講師と2名で担当する。
「日本語 I 」の担当を、須賀一好兼担教授に変更。
「日本語Ⅱ」の担当を、須賀一好兼担教授に変更。
・「地域言語演習」の担当を、坂喜美佳兼任講師に変更
・「地域言語コミュニケーション」の担当を、坂喜美佳兼任講師に変更
・「マルチ言語プロジェクト」の担当を、津坂貢政講師に変更。(令和5年2月教員審査済)共同担当の黒沢晶子教授と2名で担当する。
・「プロジェクトツアーA」の担当を、阿部裕美教授に変更。(令和5年2月教員審査済)共同担当の津坂貢政講師と2名で担当する。
・「課題研究」の担当を阿部いそみ教授に変更。(令和5年2月教員審査済)
 花屋道子教授、阿部裕美教授、黒沢晶子教授、菊地和博教授、大江篤志教授、松田浩平教授、橋本美香教授、阿部いそみ教授、澤恩嬉准教授、永盛善博准教授、
 下村美保准教授、津坂貢政講師、髙梨友也講師の13名に変更する。
|伊藤弘昭兼任講師、学園内異動のため「兼任 講師」から「兼担 准教授」に変更。
・サイモン・リーヴス兼任講師、学園内異動のため「兼任 講師」から「兼担 准教授」に変更。
```

```
【令和6年度】
・一身上の都合により、花屋道子教授退職。担当授業科目を下記のとおり担当変更する。
 ・「人間関係演習 I 」の担当を、阿部裕美教授、橋本美香教授、澤恩嬉准教授、永盛善博准教授、下村美保准教授の5名に変更。
 「人間関係演習Ⅱ」の担当を、阿部裕美教授、橋本美香教授、澤恩嬉准教授、永盛善博准教授、下村美保准教授の5名に変更。
・「人間関係プロジェクトA(コミュニケーションと心理)」の担当を、阿部裕美教授、大江篤志教授に変更。
・「心理学概論B」の担当を、伊藤朋子兼任講師に変更。
・「関係構築の心理」の担当を、永盛善博准教授、花屋道子兼任講師の2名に変更。
「臨床心理学」の担当を、花屋道子兼任講師に変更。
・「心理学研究法」の担当を、大江篤志教授、松田浩平教授、永盛善博准教授、福田真一兼担教授の4名に変更。
・「キャリア発達の心理学」の担当を、松田浩平教授、永盛善博准教授の2名に変更。
「教育相談」の担当を、花屋道子兼任講師に変更。
・「対人認知論【隔年】」の担当を、花屋道子兼任講師に変更。
・「心理学基礎実験」の担当を、松田浩平教授、永盛善博准教授、福田真一兼担教授の3名に変更。
・「心理学実験A」の担当を、松田浩平教授、永盛善博准教授、福田真一兼担教授の3名に変更。
・「心理学実験B」の担当を、松田浩平教授、永盛善博准教授、福田真一兼担教授の3名に変更。
「心理検査法実習」の担当を、岡村恵里子兼担講師に変更。
・「心理的アセスメント」の担当を、宮川系子兼任講師、髙橋理美兼任講師、曽川あけみ兼任講師の3名に変更。
・「心理演習」の担当を、大江篤志教授、松田浩平教授、永盛善博准教授の3名に変更。
・「課題研究」の担当を
 阿部裕美教授、黒沢晶子教授、菊地和博教授、大江篤志教授、松田浩平教授、橋本美香教授、阿部いそみ教授、澤恩嬉准教授、永盛善博准教授、
 下村美保准教授、佐藤亜美講師、津坂貢政講師、髙梨友也講師の13名に変更する。
 ・「卒業研究」の担当を
 阿部裕美教授、黒沢晶子教授、菊地和博教授、大江篤志教授、松田浩平教授、橋本美香教授、阿部いそみ教授、澤恩嬉准教授、永盛善博准教授、
 下村美保准教授、佐藤亜美講師、津坂貢政講師、髙梨友也講師の13名に変更する。
「生涯学習概論」の担当を、滝口克典兼任講師に変更。
・「インターンシップ」の担当を、佐藤晃兼任講師に変更。
・「刑事司法と福祉」の担当を、粟野和之兼任講師に変更。
・「臨床心理学演習」の担当を、岡村恵里子兼担講師に変更。
・「心理学概論B」の担当を、伊藤朋子兼任講師に変更。
```

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。<u>**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。</u></u>**
 - ・ A C 教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注)・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく 「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)−① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)−② 専任教員等数【大学】」を 連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

- (注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項 により算出される専任教員数を記入してください。
 - ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、 高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学・高専】

		設置時	の計画				;	現在(報告	時)の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A ')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	5	3	0	18	0	9	4	3	0	16	0
(9)	(5)	(3)	(0)	(17)	(0)						
	現在(報告時)の	完成年度時	の状況			現在(報告時)の	完成年度時	の計画	
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
9	4	3	0	16	0	9	4	3	0	16	0
[△1]	[△1]	[0]	[0]	[△2]	[0]	[∆1]	[∆1]	[0]	[0]	[△2]	[0]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、 教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、 「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入</u>するとともに、
 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	5	5
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、 「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = 16 88.88 % 設置時の計画(A) = 88.88

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = 5 31.25 % 現在(報告時)の状況(B) = 16 31.25 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

<u>現在(報告時)の完成年度時の状況(C')</u> = 0 = 0 mg =

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	自の別	担当予定科目	後任	E補充物	犬況	京	优任辞退	人	就任)の理	由	
\vdash							+										
							+										
							+										
				合計	(D)						移	经任補充状况	の集計	(E)			
	京	えだ る	を辞	退した教員数	担当科目	目数の合計	† (a) +	+ (b) + (c)	①の合	計数(a)	②の合計	十数(b))	③の合計	十数(c)
					必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
				人	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					Ē	 	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) 一② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	1	後任袖	哺充状汤	?		辞	任等	の理由		
				選択	ボランティア活動	実践		1	Ì						
				必修	人間関係演習 I			1							
				必修	人間関係演習 Ⅱ			1							
				選択	人間関係プロジェクトC(心理と	と福祉)		1							
				選択	障がい者福祉論	i		1							
				選択	ソーシャルワークの基盤と専門	門職 I		1							
				選択	ソーシャルワークの理論と方	方法 I		1							
				選択	ソーシャルワークの理論と力	方法 Ⅱ		1							
1	┃ 准教授	南條 正人	R4. 3	選択	ソーシャルワーク演	習 I		2		DA 2 214	+/+ 自	. -	都合のため	位仁 ((1)
'	准教技	田味 正八	114.5	選択	ソーシャルワーク演	習皿		1		114. 0. 01 [11/ 3	то)	1412日 () /こ()	1+ IT (.4/
				選択	ソーシャルワーク演	習Ⅴ		1							
				選択	ソーシャルワーク実習指	i導 I		1							
				選択	ソーシャルワーク実習指	導Ⅱ		1							
				選択	ソーシャルワーク実習指	導Ⅲ		1							
				選択	ソーシャルワーク実	習 I		1							
				選択	ソーシャルワーク実	習Ⅱ		1							
				必修	課題研究			1							
				必修	卒業研究			1							
				必修	人間関係演習 I			1							
				必修	人間関係演習 Ⅱ			1							
				選択	人間関係プロジェクトA(コミュニケーションと)	:心理)		1							
				選択	心理学概論B			2							
				選択	関係構築の心理	! ※		1							
				選択	臨床心理学			2							
				選択	心理学研究法※			1							
				選択	キャリア発達の心理	学※		1							
2	准教授	花屋 道子	R6. 3	選択	教育相談			2		R6 3 316	+(+	· Fω	都合のため	逆 4(6)
_	在秋汉	10/2 /2]	110.0	選択	対人認知論【隔年	₹ 】		2		10. 0. 01	117 2		HP II 07 / 2 07	1T 1 <u> </u>	.07
				選択	心理学基礎実験	*		1							
				選択	心理学実験A※			1							
				選択	心理学実験B※			1							
				選択	心理検査法実習			2							
				選択	心理的アセスメン	ト ※		2							
				選択	心理演習			1							
				必修	課題研究			1							
				必修	卒業研究	\perp		1							
						\perp									
			<u> </u>			$oldsymbol{oldsymbol{eta}}$,			
			(F)					alar :	後	经任補充状况		_		Later	
	辞任し	ンた教員数 	 		a) + (b) + (c)	<u> </u>	の合計			②の合計			③の合計		
				修	8 科目	-	修		科目	必修	0	科目		0	科目
	0	1	選	択	28 科目	選	択	22	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
	2	人	自	由	0 科目	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			1	it	36 科目	Ī	it .	30	科目	計	6	科目	計	0	科目
<u> </u>			<u> </u>	<u> </u>								. —			

- (注)・ 一度就任した後に、<u>定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について</u>、記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
 - (3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)				1	後任補	充状況の集	計(E) +	(G)		
辞任等した教	員数	担当科目数の合詞	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数(a))	②の合計	数(b))	③の合計	上数(c))
		必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	28	科目	選択	22	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
2	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	36	科目	計	30	科目	計	6	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	2	_	11 11	ا
(2)-②設置時の計画(A)	_	18] =	''.''	%

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- (3) 一⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況



- (注)・(3) -1、(3) -2で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 - ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予	定科目	後任補充	状況			辞任	等の	理由		
										1						
										1						
				É	計						後任補充物	犬況の集	計			
		辞	€任l	した教員数	担当科目数の合言	† (a) + (b) + (C)	①の合計	数(a)		②の合計	数(b)		③の合計	数 (c)	
					必修	#VALUE!	科目	必修	00	科目	必修	00	科目	必修	00	科目
					選択	#VALUE!	科目	選択	00	科目	選択	00	科目	選択	00	科目
				人	自由	#VALUE!	科目	自由	00	科目	自由	00	科目	自由	00	科目
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【大学の所見】

令和 6 年 3 月に退職した花屋道子教授の担当科目について、学生の学修に支障がでないことを第一に考えるとともに教育の質が下がらない ようにするため、以下の対応をとることとした。

〇当該教員の担当科目は、学修の系統や当該教員の担当科目数のバランスを考えて、前・後期に配置しているので、担当科目の開講時期は 変更しない。

〇後期の担当科目(単独)については、すみやかに専任教員を補充し、「AC教員審査」を受けるべく行動を起こすが、適切な人材を充当で きない場合を考え、当該教員も含め非常勤教員を充てておく。「心理学概論B」は現在本学の非常勤講師で、「教育相談」は当該教員で対 応する。

〇担当科目(オムニバス)については、教育課程全体おける担当教員の持ち時間数のバランスを勘案し、授業内容によっては研究領域が重なる複数教員を配置しているので、当該教員を除いても対応できる。「関係構築の心理」は配置教員1名と当該教員で、「心理学研究法」は当該教員を除いた現配置教員4名で、「キャリア発達の心理学」は当該教員を除いた現配置教員2名で、「心理検査法実習」は本学の子ども教育学科の専任教員単独で、「心理的アセスメント」は当該教員を除いた現配置教員3名で対応する。

〇担当科目(複数)の実験科目については、当初履修対象者数を20名として5名の教員(専任教員4名と兼担教員1名)を配置したが、実際の履修対象者が2年次13名、3年次8名であることを踏まえ、当該教員を除いた教員数で対応できる。「心理学基礎実験(2年次)」「心理学実験B(3年次)」は当該教員と兼担教員を除いた現配置教員3名で対応する。

○担当科目(複数)の演習科目については、当該教員はアクティブ・ラーニング型授業のコーディネートを担当していたので、当該教員を 除いた教員数でも十分に対応できる。

「人間関係演習 I 」「人間関係演習 II 」は当該教員を除いた現配置教員 5 名で、「人間関係プロジェクトA (コミュニケーションと心理)」は当該教員を除いた現配置教員 2 名で、「心理演習」は当該教員を除いた現配置教員 3 名で対応する。

○「課題研究(3年次)」「卒業研究I」「卒業研究II」は、当該教員が心理系であること鑑み、心理系教員3名で対応する。「卒業研究II」と「卒業研究II」の履修対象者は20名であるので、教員1名当たりの学生数は概ね6,7名となる。「課題研究」は、履修対象者が8 名であるので、教員1名当たりの学生数は概ね2,3名となる。

【学生への周知方法】

2年次以降の学生に対しては、令和6年度前期オリエンテーションにおいて教員の退職を周知するとともに、当該教員の担当授業科目については、改めて担当教員や開講時期を確認し、シラバス通り支障なく開講することを周知した。また、4年次学生の卒業研究指導に対しては、当該教員の担当コースであった「心理総合コース」担当の教員3名で対応することを周知し、さらに「心理総合コース」のミーティングで、当該教員の研究室を卒業研究ゼミと考えていた学生のゼミ先は研究領域を略同じにする教員のゼミにすることを周知し、学生の不安を払拭した。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項等	履行状況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和2年)	・係コ入はよは実と特ミスにニする(・の明てし等しりるたココ学ミ学分と関、、てにて確こ、一のコをにこの明てし等しりるたココ学ミ学分と関、、てにて確こ、一修ュ修か。関、、てにて確こ、一修ュ修か。 関、、てにて確こ、一修ュ修か。 「助」 「助」		
認 可 時(令和2年)	・念知用シを究てコてメでちとン要ー「的るコのえ改計意「で」」ョ包・、一いン、、「」で方対相と一要らめ画す「で」」ョ包・、一いン、、「」で方対相と一要らめ画すりあ、「」で材学をがコつにュつとに知用れおてのと行と解対会ミ3る成にく福ス要対ニの説お」」ていがでもに。「認相ニの育野つとマ説の認一素がて「関る、要適、たり認相」とがいて重、に当場があは社連。3と切設りの「ユーンがあば社連。3と切設りの「関系、のとネ明う知シがあば社連。3と切設りでもに。「関る、要適、たのとネ明の記一素がで、関る、要適、たのとネ明の記書を表す。	指摘を踏まえ、「設置の趣旨及び 必要性」の図及び記述を修正し た。(3)(4)(5)	

認 可 時 (令和2年)	・の「取専係めス選早誤確ま合で格て数にが(理一定が領不学位ののを説い一認取時ど生ま言 合で理きと確に付着といって記りであっておけにかなるため、の士に修点するいであり、のなら、の世に修点する、のがは、のという、のかにのであり、のたコーでようが理一のた単事こ外 格各関 一ス、に明望総ス資っ位前と	【認可】	心は前調推検合理でる 心は前調推行コ得ル関がにえ(い取 に を理修を総心い を理修を 取デにン別 を理修を総心い を理修を総心い を理修を総心い を理修を総心い を理修を総心い を理修を総心い を理修を総心い を理修を総心い を理修を は に 資理向履るで学備 に 資理向履ス」、、エたに のの で は で い 取 (た 指 外格修 科 シ、り し に 資理 向 履 で が 取 で に 資理 向 履 ス 」、、エ た に 資理 の で は が リ る に 資 理 の を モ 目 ョ 個 か た に 資 理 に 資 理 の を モ 目 ョ 個 か た に 資 は の で が り し に で い 取 で に な が り る に で い 取 で に な で が り る に で が 取 で と で が り る に で が 取 で と で が り も で で い 取 で と で で い 取 で と で が り も で で い 取 で と で が り も で で い 取 で に な で が い 取 で と で が い 取 で に な が り も で が い 取 で に か で い 取 で に か で ら い 取 で に か で ら い 取 で に か い 取 で か に あ い 取 が に え い な に か い 取 で に か い 取 で に か い 取 で か に あ い い 取 で か に あ い い 取 で か に あ い い 取 で か に あ い い 取 で に か い 取 で に か い 取 で か に あ い い 取 で か に あ い い 取 で か に あ い い な に か い い な に か い い な に か い い な に な か い い し に か い い な に か い い に の い に な が い の で ら い い な に か い い な に な が い い な に か い い な に か い い な に な が い い な に か い い な に か い い な に か い い な に か い い な に か い い な に か い い な が い い な に か い い な が い い な に か い い な に か い い な に か い い な に か い い な が い れ い い な が い い な が な が	履行済	
認 可 時 (令和2年)	・心理総合コースにつ いて、心理総合コースにつ が一次の学びの が生要覧に記載するな が望まりましい。 (助言事項)	ਿ≑ਨਾਜ਼ਾਜ਼	今年度入学者に対して、オリエンテーション時に履修モデル資料を提示し、心理学の学びの方向性を示した。次年度は履修の手引きの冊子内に掲載する。(3) 履修モデルを履修の手引きのファイルにとじ込み、心理学の学びの方向性を学生に示した。(4)(5)(6)	履行済	
認 可 時 (令和2年)	・コ会シは はいます ・コ会 かけい ・コ会 かけい ・コーク では がい ・コーク では できる かい ・コーク は いっと は いっと ・コーク は いっと	【認可】 遵守事項	指摘を踏まえ、「設置の趣旨及び必要性」の記述を修正した。(3)(4)(5)(6)	履行済	

認 可 時 (令和2年)	・完成年度的高速 ・完成年度のると ・完成年度のると をである。 をである。 をできるが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	【認可】	定年を迎える教員の後任人事については、計画的な若手教員の採用計画などの検討や実施を行っていく。	履行中	将来構想委員会、人事委員会にお いて、採用計画を検討している。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年)					
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年)					
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年)					

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、 以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)(6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、<u>当**該大学に付された指摘を</u></u>**
- 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。 その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間科学部 人間関係学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 校舎面積 専用 2,496㎡ 共用 9,490㎡ 共用する他の学校等の専用 2,077㎡ 合計 14,063㎡	① 学園本部移転に伴い、校舎面積を減じた 専用 2,495㎡ 共用 9,454㎡ 共用する他の学校等の専用 1,900㎡ 合計 13,850㎡

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では、大学、短期大学部全学科の委員(各学科1~2名)で構成された「東北文教大学・東北文教大学短期 大学部教育開発センター」を設置し、全学的にFD活動を実施している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

令和6年度も規程に従い会議を実施する。必要に合わせてメール(書面)会議等も実施する予定である。

c 委員会の審議事項等

東北文教大学・東北文教大学短期大学部教育開発センター会議は、規程に従い下記の事項について審議、検討、実施する。

①大学教育およびFDに関する研究活動、②大学教育およびFDに関する研修の企画・運営、③大学教育およびFDに関する普及・出版活動、④授業改善に関わる取り組み、⑤教材・テキストおよび研究書の編集・発行等

② 実施状況

a 実施内容

令和5年度は、6月2日(7名中7名出席)と6月14日(7名中7名出席)にオンラインにて「教育開発センター会議」 を実施したほか、必要に応じて書面会議を実施した。協議内容は、今年度事業計画の決定や、今後の実施内容の 検討、アンケートの実施内容等である。

- 1. 全授業科目、全教員を対象とした「授業アンケート」を年2回(7月~8月・12月~1月)実施
- 2. 学修時間と学修行動、学生生活に係るアンケートを実施(9月・10月)
- 3. 学習成果等にかかるアンケートを実施(2月)
- b 実施方法
- 1. 「授業アンケート」 (7月~8月・12月~1月)

全授業科目、全教員を対象にWeb形式でアンケートを実施した。

- 2. 学修時間と学修行動、学生生活に係るアンケート(9月・10月) 全学科、全学年の学生を対象にWeb形式でアンケートを実施した。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)

授業アンケートは全教員(非常勤教員含む)を対象に実施した。

学修時間と学修行動、学生生活に係るアンケートは全学生を対象に実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

「授業アンケート」については、集計結果や自由記述を受け、各教員で改善を行っている。 また、研修やアンケートの結果については、各教員や学科で検討するとともに、改善に反映させている。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - 1. 実施時期 前・後期の14回目もしくは15回目の授業において実施(前期:7月~8月、後期:12月~1月)
 - 2. 実施形態 全科目、全教員対象。Web形式での実施
 - b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの集計結果及び学生の自由記述は、各教員へフィードバックしている。また、教員はその結果 を踏まえ、結果に対するフィードバックとなるコメントを明示する。 集計結果はグラフ化し、フィードバックされた教員コメントと共に、学内で公開している。

- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし		

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は設置4年目で、現在履行中である。

専門科目を修める上で軸足を置く学問領域を定めさせるため、2年次から学生を、「グローカルコミュニケーションコース」「心理総合コース」「福祉マネジメントコース」のいずれかのコースに所属させているが、その際学生の学修意欲を最優先として所属コースを決定している。1年次の専門基盤科目及び中心科目を通じて、学生が自らについて考える視点をもち、自分自身の学びの方向づけができるよう教育した結果、設置計画のとおり各学生の希望に応じたコース選択がなされ、2021年度入学者ではグローカルコミュニケーションコースに11名、心理総合コースに22名、福祉マネジメントコースに15名、2022年度入学者ではグローカルコミュニケーションコースに9名、心理総合コースに9名、福祉マネジメントコースに19名、2023年度入学者ではグローカルコミュニケーションコースに14名、心理総合コースに12名、福祉マネジメントコースに22名が所属して、学修を進めている。

学科における教育の根幹をなし、人間関係の基本を学ばせるための中心科目として設定した2年次開講の「人間関係演習 I 」「人間関係演習 II 」においては、実際の職場における観察実習やグループワークを、3年次開講の「人間関係プロジェクトA」(グローカル×心理)、「同B」(グローカル×福祉)、「同C」(心理×福祉)(3科目のうち2科目選択必修)においては、自らの課題に合わせて実習のフィールドを設定し、観察実習とグループワークを行うなど、アクティブラーニングを取り入れた授業を展開している。総じて学生のコミットの程度が高く、中心科目としての役割を果たしている。

さらに、自己点検・評価の一環として例年実施しているステークホルダーからの意見聴取会において出席者から、地元に目を向けることの重要性や多様性に対する理解の重要性など、地域力や人間関係力をつける教育の必要性が強調され、本学科の教育方針に対して地域の関係機関からの支持や期待が得られている。一方、本学科のアピールが不十分で、地域へ教育目標が十分に伝わっていない旨の指摘もあった。

学生の入学状況については、2024年度の入学定員充足率は80.0%であった。設置4年目で全学年の収容定員充足率は76.0%である。入学定員充足率が80%前後に止まっているので、学科の広報や選抜方法を評価・改善するプロジェクトチームを編成し、オープンキャンパスで、学科の学生と高校生とが直接対話できる機会を多く設定するなど取り組みのパージョンアップ、また学校推薦型選抜の重視を決める等、入学定員充足率100%を目指し、鋭意、検討している。

学科の設置の趣旨や目的を明確化し学生に対して説明責任を果たすことと、目的達成状況を評価し学科構成員間で共有することを目的として立ち上げた作業部会は現在も行動中である。現在、学科の中心科目における教育の土台となるテキストを作成する作業を進めているところである。また、設置後3年間を経て、本学科に対する地域社会の要請や学生の要望等が寄せられているので、それらに対応する教育課程を探るべく、作業部会を立ち上げ、検討を開始した。これらの定期ミーティングの検討結果は、学科会議において報告され、学科構成員間で共有されている。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表(予定)時期

記入例)

- 令和6年12月公表予定
- b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に「自己点検評価書」を公開予定である。
- ③ 認証評価を受ける計画

本学では、7年に1度「日本高等教育評価機構」の認証評価を受審している令和5年度に既設学科である子ども教育 学科とともに受審し、適格認定を受けている。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

〇 設置計画履行状況報告書(令和6年度)		
a 公表予定の有無 〔 有 ・ 無 〕		
≪ a で「有」の場合≫ b 公表(予定)時期 〔 調査結果公表後 1 ヶ月以内 ・ 公表後 2 ~ 3 ヶ月以 c 公表方法 ・ ウェブサイトへの掲載 ・ その他(内 ・ 公表後3ヶ月以降]
≪aで公表「無」の場合≫	,	,
d 公表しない理由 〔		J

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。